

令和6年版 消防年報



薩摩川内市消防局マスコットキャラクター
ユリハナ君

鹿児島県
薩摩川内市消防局



薩摩川内市民憲章

美しい自然と 古い歴史を誇りとする
わたしたち薩摩川内市民は

やさしくすれば 心はかよう
はなしをすれば だれでもわかる
考えさえすれば みちはひらける
やりさえすれば かならずできる
という信条をもって

明るく豊かなまちをつくります



市木 クロガネモチ



市花 カノコユリ



市鳥 メジロ



市魚(川) アユ



市魚(海) キビナゴ

は し が き

この年報は、薩摩川内市消防局の現勢と令和6年中における消防業務に関する諸般の事項を収録し、将来の参考とするとともに消防事情を広く一般に紹介するために編集したものです。

なお、この年報の統計資料は、原則として暦年をもって表し、予算に係りのある事項については、会計年度で作成し、それ以外のものについては当該表にそれぞれ記載した年月日を表してあります。

令和7年6月

薩摩川内市消防局

目 次

I.総括

1. 薩摩川内市消防局管内の位置と地勢 1
2. 消防本部・署の沿革 2

II.総務

1. 薩摩川内市消防局の組織 7
2. 消防本部・署の事務分掌 8
3. 消防庁舎の概要 11
4. 消防大学校等入校・各種研修参加状況 14
5. 職員の階級別年齢状況 15
6. 職員の勤続年数状況 16
7. 職員の配置状況 17
8. 薩摩川内市消防局応援協定 18
9. 予算の比較 19
10. 消防費と人口の比較 19
11. 消防費の内訳 19
12. 消防職員特殊技能その他資格取得状況 20

III.予防

1. 地域別火災発生状況 21
2. 月別火災発生状況 22
3. 時間別火災発生状況 23
4. 原因別火災発生状況 23
5. 火災発生件数の推移 24
6. 火災損害見積額の推移 24
7. 防火対象物現況 25
8. 建築同意事務処理状況 26
9. 防火対象物定期点検報告制度実施状況 27
10. 中高層建築物一覧表 27
11. 諸届出書の処理状況 28
12. 予防査察実施状況 29
13. 地域別危険物施設現況 30
14. 危険物施設の数量及び類別状況 31
15. 危険物施設の許可等処理状況 32
16. 危険物施設の立入検査実施状況 33

IV.警防

1. 消防水利状況 34
2. 消防車両等の概要 35
3. 無線配備状況 36
4. 気象状況(薩摩川内市消防局本部庁舎屋上) 39

V.救急及び救助

1. 地域別救急出場状況	40
2. 月別救急出場状況	40
3. 年齢区分別搬送人員	41
4. 時間別出場状況	42
5. 曜日別出場状況	42
6. 月別出場状況	42
7. 救急隊員の行った応急処置状況(搬送者のうち)	43
8. 不搬送原因別出場件数	43
9. 救急出場の推移(急病及び交通事故)	44
10. 搬送人員の推移	44
11. 住民に対する応急手当普及啓発活動状況	45
12. CPA患者社会復帰状況	45
13. 事故種別救助活動状況	46
14. 事故種別出場及び活動車両状況	46

VI.消防団及び消防協力団体

1. 薩摩川内市消防団の組織	47
2. 消防団員定数及び実員	48
3. 年齢別消防団員数	48
4. 方面隊別消防団員団員数	48
5. 勤続年数別消防団員数	48
6. 消防団車両の概要	49
7. 小型ポンプの概要	51
8. 消防協力団体	53
9. 特殊施設	55

付録

● 消防本部・署の沿革(川内市消防本部)	56
● 消防本部・署の沿革(川内地区消防組合)	57

I. 総括

1. 薩摩川内市消防局管内の位置と地勢

薩摩川内市は、薩摩半島の北西部に位置し、南は県都鹿児島市といちき串木野市、北は阿久根市に隣接する本土区域と、上甑島、中甑島、下甑島で構成される甑島区域で構成されています。

東シナ海に面した変化に富む白砂青松の海岸線、市街部を悠々と流れる一級河川「川内川」、蘭牟田池をはじめとするみどり豊かな山々や湖、地形の変化の美しい甑島、各地の温泉など、多種多様な自然環境を有しています。

本市が有するこれらの多彩で美しい自然環境は、平成27年3月16日に指定された甑島国立公園をはじめ、川内川流域県立自然公園、蘭牟田池県立自然公園など、広く市民に親しまれています。

この広域に及ぶ当局管内面積は682.92km²です。

消防本部の位置 東経 130° 18′
 北緯 31° 49′



2. 消防本部・署の沿革

年	月	概 要
平成 16 年	10 月 12 日	薩摩川内市が誕生し、薩摩川内市消防局発足
	10 月 12 日	伊豫田輝雄初代消防局長就任
	10 月 12 日	東部消防署祁答院分署運用開始
	11 月 17 日	救急救命士 17 人となる
平成 17 年	4 月 1 日	原子力発電施設等緊急時安全対策交付金事業により鹿児島県から携帯用無線機 15 基、空気呼吸器 1 式、空気呼吸器用ボンベ 10 本の貸与を受ける
	5 月 9 日	救急救命士 18 人となる
	6 月 9 日	緊急消防援助隊全国合同訓練参加(静岡県静岡市清水区)～12日
	10 月 1 日	西部消防署高規格救急車等による高度救急業務を開始
平成18年	11 月 4 日	東部消防署祁答院分署新庁舎落成式挙行
	11 月 21 日	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練参加(沖縄県うるま市)～24日
	11 月 24 日	救急救命士 19 人となる
	1 月 15 日	伊豫田輝雄消防局長退任
	1 月 16 日	桑原道男第 2 代消防局長就任
	2 月 21 日	アステラス製薬株式会社から救急自動車(2B)の寄贈を受ける
	4 月 1 日	原子力発電施設等緊急時安全対策交付金事業により鹿児島県から空気呼吸器 6 基、空気呼吸器用ボンベ 10 本、空気呼吸器用面体 40 個の貸与を受ける
	5 月 22 日	救急救命士 21 人となる
	6 月 1 日	「住宅用火災報知機」の設置が義務づけられる
	7 月 22 日	鹿児島県北部豪雨災害(消防職員・消防団員 延 1,252 人出場)～23日
平成19年	10 月 20 日	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練参加(北九州市)～21日
	12 月 7 日	総務省消防庁主催「第 9 回全国消防広報コンクール」広報紙部門優秀賞受賞
	1 月 23 日	鹿児島県防災航空隊と合同練習
	4 月 1 日	原子力発電施設等緊急時安全対策交付金事業により鹿児島県から空気呼吸器 6 基、空気呼吸器用ボンベ 10 本、空気呼吸器面体 40 個、液晶プロジェクター 1 台、防護マスクフィルター 532 個の貸与を受ける
	5 月 14 日	救急救命士 24 人となる
平成20年	5 月 16 日	鹿児島県防災航空隊と合同練習
	10 月 12 日	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練参加(大分県中津市)～13日
	1 月 14 日	桑原道男消防局長退任
	1 月 15 日	上村健一第 3 代消防局長就任
	4 月 1 日	原子力発電施設等緊急時安全対策交付金事業により鹿児島県から空気呼吸器用ボンベ 10 本、空気呼吸器面体 10 個、エアータンク 32 基、放射性廃棄物用ドラム缶 1 個、サーベイメーター用アルミ収納ケース 4 個、防護マスクフィルター 794 個、ポケット線量計 3 個の貸与を受ける
平成21年	4 月 28 日	救急救命士 26 人となる
	9 月 12 日	鹿児島県防災航空隊と合同訓練
	11 月 21 日	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練参加(長崎県佐世保市)～22日
	4 月 1 日	原子力発電施設等緊急時安全対策交付金事業により鹿児島県から空気呼吸器 6 基、空気呼吸器面体 30 個、空気呼吸器用ボンベ 10 本、エアータンク 5 基、防護マスク 195 個、防護マスクフィルター 1000 個、防護服(アノラック型、タイベック型)50 着、液晶プロジェクター 1 台、DVD プレーヤー 5 台、液晶プロジェクターケース 1 個、ポケット線量計 20 個、携帯無線機用スピーカーマイク 15 個の貸与を受ける
	4 月 14 日	救急救命士 28 人となる
平成22年	8 月 26 日	鹿児島県防災航空隊と合同訓練
	10 月 9 日	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練参加(佐賀県佐賀市)～10日
	11 月 16 日	東部消防署 高規格救急車を更新
	2 月 15 日	中央消防署下甕分駐所新庁舎運用開始
	3 月 31 日	中央消防署南部分署 大型高所放水車を更新
	4 月 1 日	原子力発電施設等緊急時安全対策交付金事業により鹿児島県から空気呼吸器 2 基、空気呼吸器面体 30 個、空気呼吸器用ボンベ 10 本、デジタルカメラ 1 台、防護マスクフィルター

2. 消防本部・署の沿革

年	月	概	要
平成23年		100 個の貸与を受ける	
	5 月 1 日	救急救命士29人となる	
	6 月 4 日	緊急消防援助隊全国合同訓練参加(愛知県知多市)～5日	
	8 月 30 日	西部消防署 大型化学消防車を更新	
	10 月 8 日	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練を実施(薩摩川内市)～9日	
	11 月 10 日	支援車Ⅰ型を総務省消防庁から緊急消防援助隊登録車両として無償貸与を受ける	
	11 月 29 日	東部消防署 水槽付消防ポンプ自動車を更新	
	2 月 24 日	西部消防署 泡原液搬送車を更新	
	3 月 14 日～23 日	平成23年3月11日14時46分に発生した東日本大震災「東北地方太平洋沖地震」における災害対応に、緊急消防援助隊鹿児島県隊として総務省消防庁から派遣要請を受け、延べ20人出場(派遣先:宮城県石巻市)	
	4 月 1 日	原子力発電施設等緊急時安全対策交付金事業により鹿児島県から空気呼吸器2基、空気呼吸器用ボンベ10本、容器呼吸器面体30個、デジタルビデオカメラ1台、ノートパソコン1台、化学防護服2着、防護マスクフィルター600個、防護服(アノラック型)200着、防護服(タイベック型)200着、チオックス手袋40ダース・綿手40ダース、防護靴80足、オーバーシューズ200足の貸与を受ける	
平成24年	4 月 1 日	簡易携帯・IP電話位置情報システムの運用開始	
	4 月 1 日	総務省消防庁無償貸与「緊急消防援助隊活動資機材」個人線量計15個、線量率計(γ線・X線)4台、線量率計(中性子用)1台	
	5 月 1 日	救急救命士30人となる	
	10 月 1 日	祁答院分署救急車に高度救命処置用資機材を搭載、救急救命士4人を配置し、運用開始	
	11 月 4 日	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練参加(宮城県宮崎市)～5日	
	12 月 16 日	鹿児島県ドクターヘリ運用開始	
	1 月 30 日	原子力発電施設等緊急時安全対策交付金事業により鹿児島県から空気呼吸器2基、空気呼吸器用ボンベ5本、空気呼吸器面体2個、化学防護服2着の貸与を受ける	
	3 月 2 日	下甕分駐所 救急車を更新	
	3 月 9 日	西部消防署 水槽付消防ポンプ自動車を更新	
	3 月 13 日	原子力発電施設等緊急時安全対策交付金事業により鹿児島県から防護マスクフィルター1430個、GM防護マスク85個の貸与を受ける	
平成25年	4 月 1 日	総務省消防庁無償貸与「緊急消防援助隊活動資機材」救助用破壊器具(バッテリー式)1式受領	
	5 月 1 日	救急救命士32人となる	
	6 月 27 日	総務省消防庁無償貸与「緊急消防援助隊支援資機材」エアーテント1式受領	
	10 月 1 日	総務省消防庁無償貸与「緊急消防援助隊活動資機材」個人線量計6個、線量率系(γ線・X線)2台、表面汚染調査計1台受領	
	11 月 17 日	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練参加(熊本県八代市)～18日	
	11 月 28 日	燃料補給車配備(総務省消防庁無償貸与・緊急消防援助隊登録車両)	
	2 月 18 日	中央消防署 はしご付消防ポンプ自動車を更新(先端屈折型30m級、四輪操舵式導入)	
	3 月 22 日	総務省消防庁無償貸与 重機搬送車(クレーン付き)・建設機械(5トン重機 アタッチメント付)	
	3 月 25 日	原子力発電施設等緊急時安全対策交付金事業により鹿児島県から、防護服(タイベック型)510着、防護靴40足、オーバーシューズ725足、チオックス手袋34ダース、綿手41ダース、作業帽142袋、エプコテープ10ダース、ポケット線量計(PDM-222V 型)250個、サーベイメータ(シンチレーション式 TCS-172B)2台の貸与を受ける	
	8 月 16 日	京都府福知山市花火大会露店爆発事故を教訓に、露店防火指導査察をはじめ。	
平成26年	11 月 25 日	消防団120年、自治体消防65年記念大会へ参加	
	2 月 20 日	中央消防署 高規格救急車を更新	
	3 月 12 日	上甕分駐所 救急車を更新	
	3 月 31 日	上村健一消防局長退任	
	4 月 1 日	新盛和久第4代消防局長就任	

2. 消防本部・署の沿革

年	月	概 要
平成27年		原子力発電施設等緊急時安全対策交付金事業により鹿児島県から、原子力災害活動用防護服一式、キャビネット2基、GM管サーベイメータ(TCS-146B)2台、ポケット線量計52個の貸与を受ける
	7 月 18 日	消防本部・中央消防署新庁舎運用開始 高機能消防指令センター運用開始
	7 月 22 日	新旧消防庁舎にて閉庁式及び開庁式を開催
	7 月 26 日	薩摩川内市消防局消防本部・中央消防署落成式を開催
	8 月 1 日	防災研修センター本格運用開始
	11 月 6 日	消防総務課 連絡車を更新 予防課 予防指導車を更新
	11 月 22 日	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練参加(福岡県久留米市)～23日
	3 月 17 日	南部分署 水槽付消防ポンプ自動車を更新
	5 月 7 日	救急救命士36人となる
	5 月 29 日	口永良部島新岳の爆発的噴火が発生し、鹿児島県消防救助技術指導会が競技途中で中止となる
	7 月 4 日	消防救急デジタル無線仮運用開始
	8 月 18 日	コーアガスグループから消防指令車の寄贈を受ける
	9 月 16 日	防災研修センターの利用者1万人達成
	11 月 7 日	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練参加(大分県佐伯市) ～8日
	11 月 11 日	緊急消防援助隊全国合同訓練参加(千葉県市原市) ～16日
平成28年	12 月 10 日	原子力発電施設等緊急時安全対策交付金事業により鹿児島県からGM管式サーベイメーター3台の貸与を受ける
	1 月 19 日	消防救急デジタル無線の本格運用並びに運用開始式を開催
	3 月 23 日	予防課 火災原因調査車を更新
	3 月 24 日	警防課 本部指揮隊車を更新
	4 月 1 日	消防局150人体制となり、上甕分駐所並びに下甕分駐所に職員をそれぞれ1人増員し、各分駐所6人体制となる
	4 月 15 日 ～28 日	4月14日21時26分に発生した震度7の地震を前震とする「平成28年熊本地震」における災害対応に、緊急消防援助隊鹿児島県隊として延べ31人出場する
	4 月 27 日	救急救命士37人となる
	6 月 1 日	株式会社大和から小型バスの寄贈を受ける
	11 月 5 日	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練参加(長崎県雲仙市) ～6日
	12 月 13 日	海上保安庁と合同潜水訓練を実施する
平成29年	1 月 7 日	消防出初式において木遣り歌を初披露
	2 月 20 日	原子力発電施設等緊急時安全対策交付金事業により鹿児島県から、空気ボンベ20本、原子力災害活動用防護服一式の貸与を受ける
	3 月 17 日	中央消防署 高規格救急車を更新
	4 月 1 日	消防局154人体制となる
	4 月 1 日	横浜市消防局に職員1人を派遣する
平成30年	5 月 1 日	救急救命士39人となる
	1 月 7 日	消防出初式においてはしご乗りを初披露
	1 月 31 日	下甕分駐所 連絡車を更新
	2 月 28 日	東部消防署、西部消防署 指揮車を更新
	3 月 28 日	中央消防署 水槽付消防ポンプ自動車を更新
	4 月 1 日	消防局157人体制となる
	4 月 1 日	昨年度に引き続き横浜市消防局に職員1人を派遣する
	4 月 17 日	株式会社サンテックから無人航空機(ドローン3機)の寄贈を受ける
	5 月 1 日	救急救命士43人となる
	1 月 12 日	消防出初式において薩摩川内火けし保存会(木遣り隊、はしご隊、纏隊、腕用ポンプ隊)による合同演技を披露
平成31年	1 月 31 日	消防総務課 連絡車を更新

2. 消防本部・署の沿革

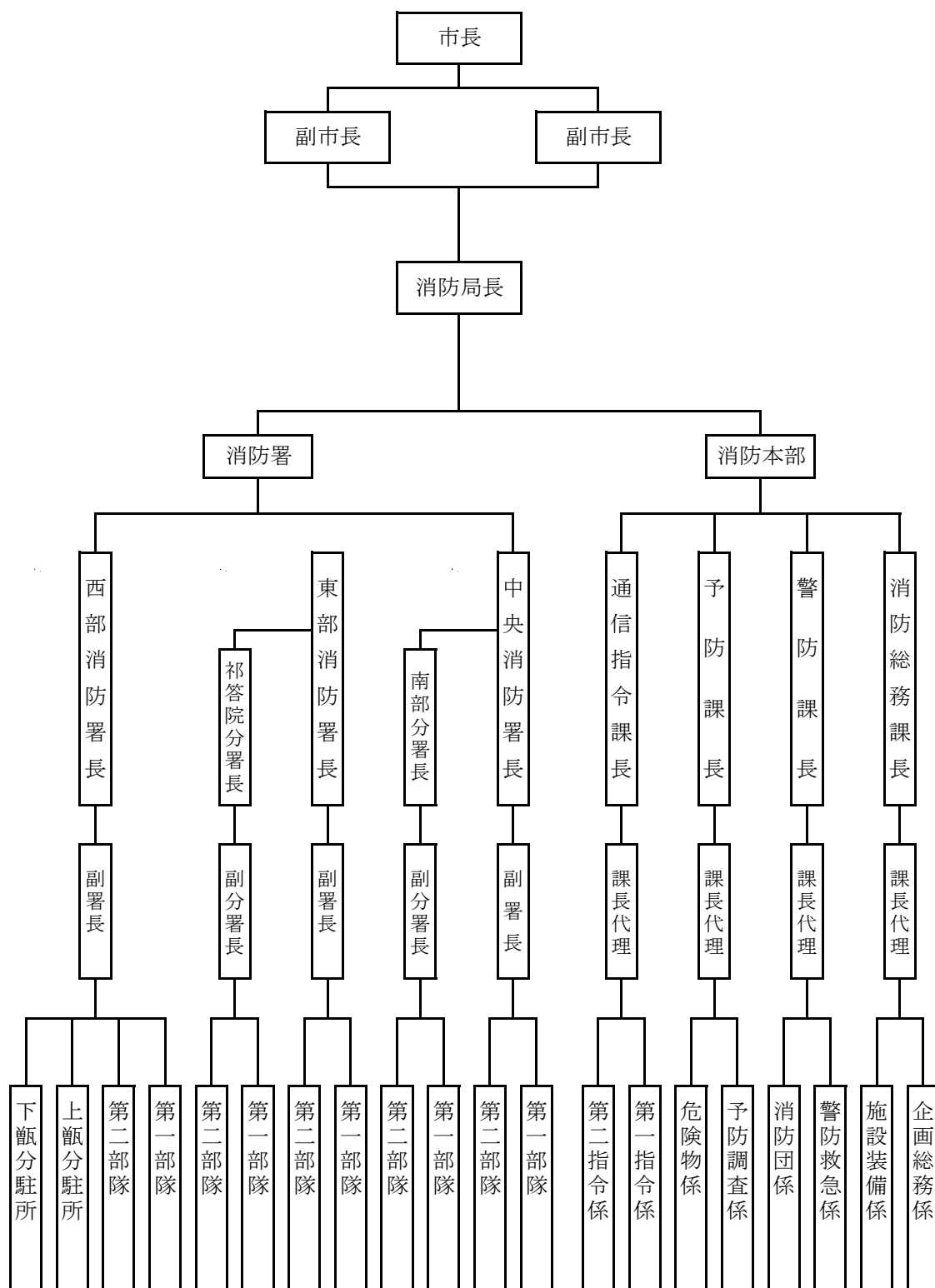
年	月	概 要
平成31年	2 月 12 日	中央消防署 指揮車を更新
	3 月 22 日	下甌分駐所職員待機宿舎(借上型住宅)完成
	3 月 28 日	消防総務課 資機材搬送車を更新
	4 月 1 日	消防局155人体制となる
	4 月 1 日	横浜市消防局に職員1人を派遣する
令和元年	5 月 23 日	伊藤二作氏から高規格救急車及び救急資機材の購入費として寄附を受け、東部消防署高規格救急車を更新
	10月 1 日	鹿児島県消防長会事務局(鹿児島市消防局)に職員1人を派遣する
	11月 18 日	株式会社鳳荘から小型貨物自動車の寄贈を受ける
令和2年	1 月 27 日	南部分署救急消毒室を新築整備
	2 月 3 日	警防課 連絡車を更新
	3 月 7 日	川野眼科から無人航空機(ドローン1機)の寄贈を受ける
	3 月 31 日	新盛和久消防局長退任
	4 月 1 日	中村真第5代消防局長就任 消防局156人体制となる
	4 月 1 日	横浜市消防局に職員1人を派遣する
	4 月 1 日	機能別消防団が発足 消防団員65人に辞令を交付
	5 月 20 日	救急救命士45人となる
	9 月 25 日	湯浦石油株式会社から寄附を受け、各種講習会用プロジェクター及び接地抵抗計を購入する
令和3年	3 月 17 日	伊藤二作氏から救急資機材の購入費として寄附を受ける。(令和3年度購入予定)
	3 月 23 日	成松一枝氏から寄附を受け、訓練等用鉄棒の設置及び可搬型組立式消防用水槽を購入する
	4 月 1 日	横浜市消防局に職員1人を派遣する
	4 月 1 日	北薩3消防本部消防通信指令事務協議会事務局に職員2名を派遣する
	9 月 16 日	伊藤二作氏からの寄附により、救急救命士訓練資機材等を購入する
	10月 1 日	川薩地区生コンクリート協同組合及び甌島地区生コンクリート協同組合と災害時における消防用水の確保に関する協定を締結する
令和4年	1 月 18 日	薩摩川内市消防局防火衣一式を更新
	3 月 18 日	祁答院分署 水槽付消防ポンプ自動車を更新
	3 月 31 日	中村真消防局長退任
	4 月 1 日	佐多孝一第6代消防局長就任 消防局154人体制となる
	4 月 1 日	横浜市消防局に職員1人を派遣する
	6 月 8 日	神奈川県横浜市中区で開催の第45回全国消防職員意見発表会で鶴永淳之介消防士長が最優秀賞を受賞
	11月 12 日	緊急消防援助隊全国合同訓練参加(静岡県静岡市)～13日
	11月 26 日	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練参加(沖縄県 与那原町) ～27日
	12月 28 日	中央消防署 救助工作車を更新
令和5年	3 月 6 日	中央消防署 消防ポンプ自動車を更新
	3 月 31 日	佐多孝一消防局長退任
	4 月 1 日	石原浩之第7代消防局長就任 消防局156人体制となる
	4 月 1 日	横浜市消防局に職員1人を派遣する
	11月 25 日	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練参加(福岡県若宮市)～26日
令和6年	2 月 26 日	西部消防署 外壁塗装工事実施
	2 月 27 日	南部分署 高規格救急自動車を更新(県内初となる電動ストレッチャー装備)
	3 月 15 日	東部消防署 女性用宿直室完成
	4 月 1 日	横浜市消防局へ職員1人を派遣する
	4 月 18 日	下甌分駐所 高規格救急自動車を更新
	6 月 10 日	山室克己氏から水中ドローン(一式)の寄贈を受ける
	10月 1 日	原子力規制委員会 原子力規制庁へ職員1名を派遣する

2. 消防本部・署の沿革

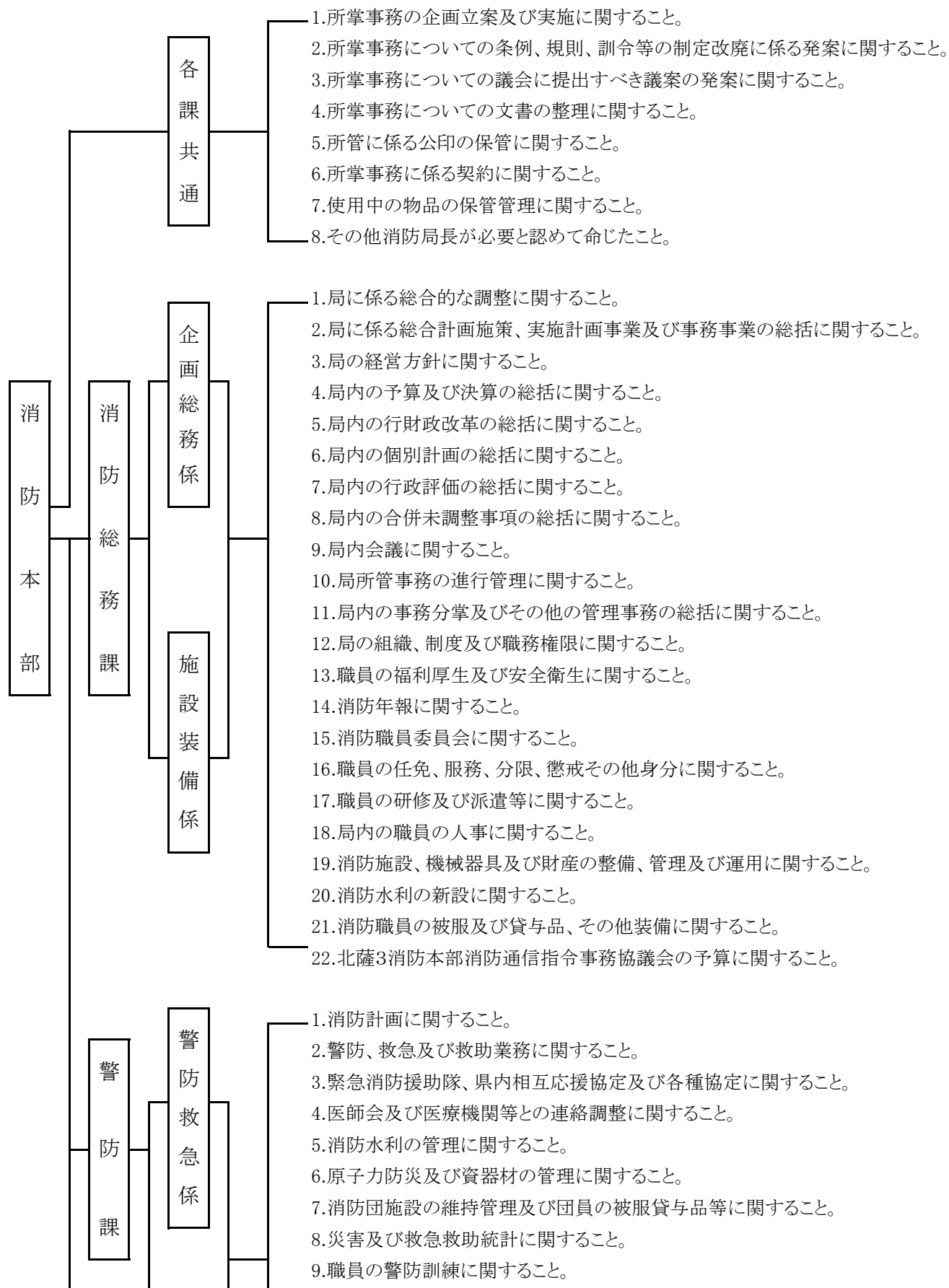
年	月	概 要
令和7年	11月16日	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練参加(長崎県東彼杵郡川棚町)～17日
	2月4日	西部消防署 高規格救急自動車を更新(電動ストレッチャー装備)
	3月12日	上甕分駐所 高規格救急自動車を更新
	3月31日	石原消防局長退任
	4月1日	森山勝男第8代消防局長就任 消防局158人体制となる
	4月1日	北薩3消防本部指令センター運用開始
	4月1日	消防局組織再編により上甕分駐所及び下甕分駐所が西部消防署管轄となる 西部消防署 女性用宿直室完成

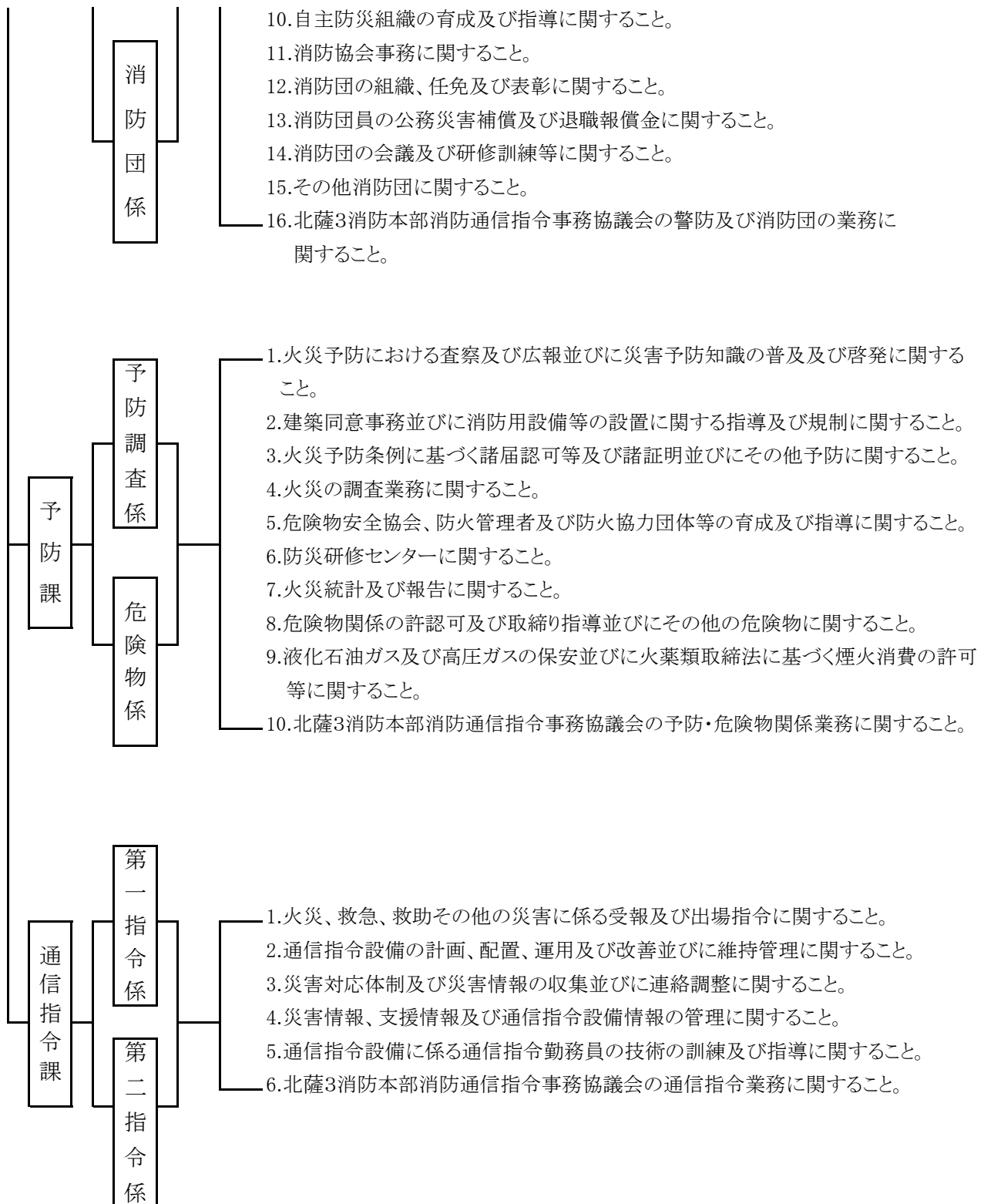
Ⅱ. 総務

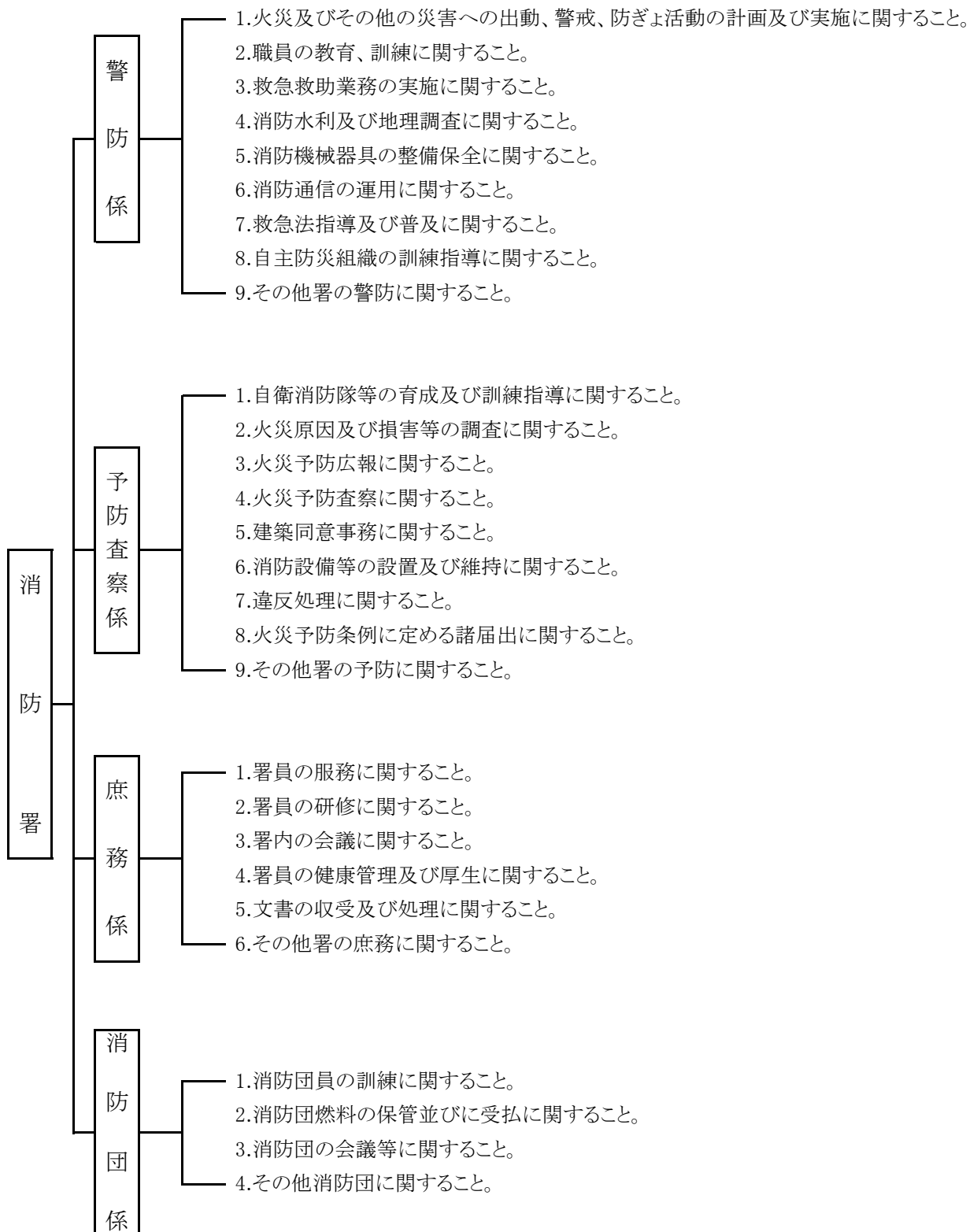
1. 薩摩川内市消防局の組織



2. 消防本部・署の事務分掌





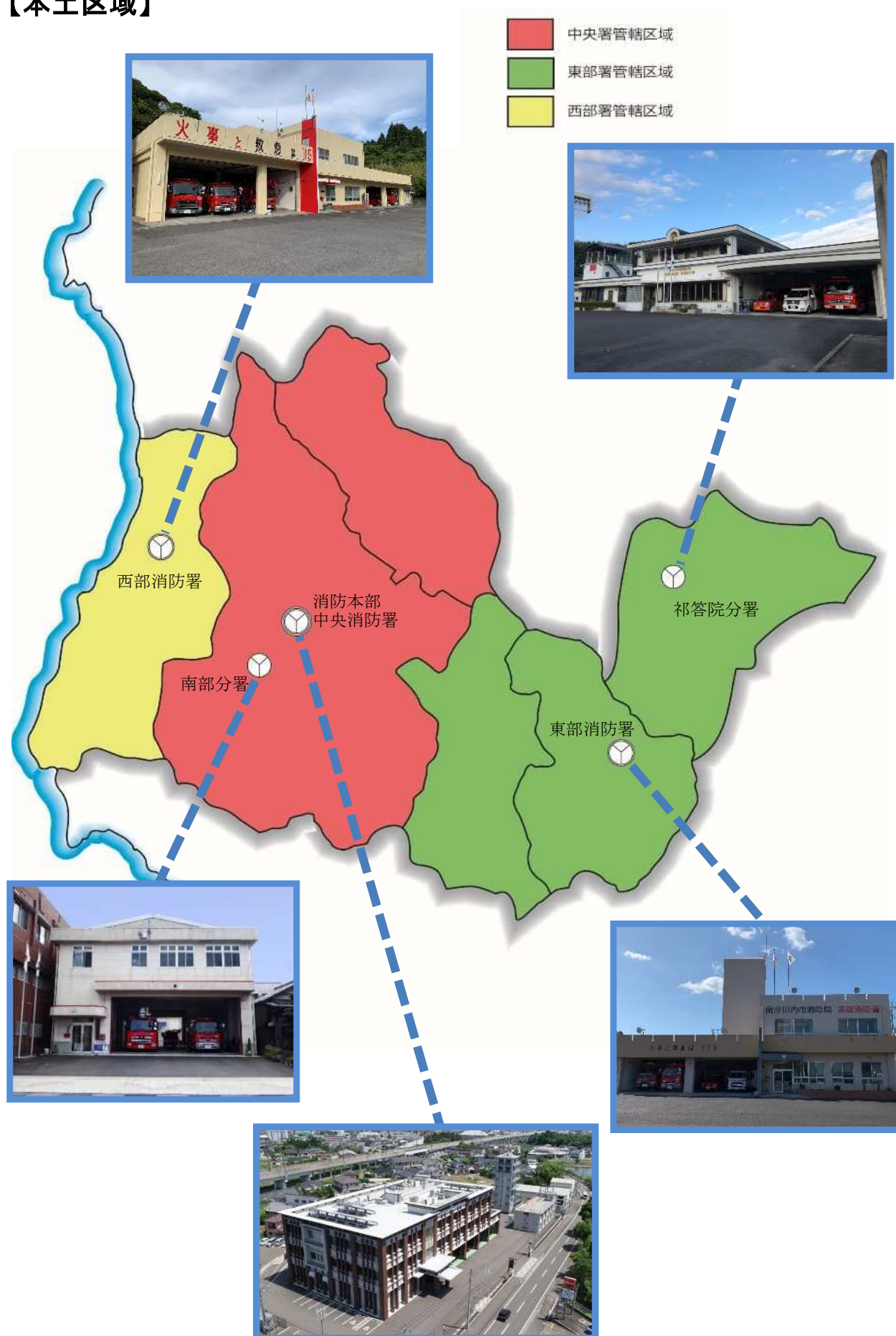


3. 消防庁舎の概要

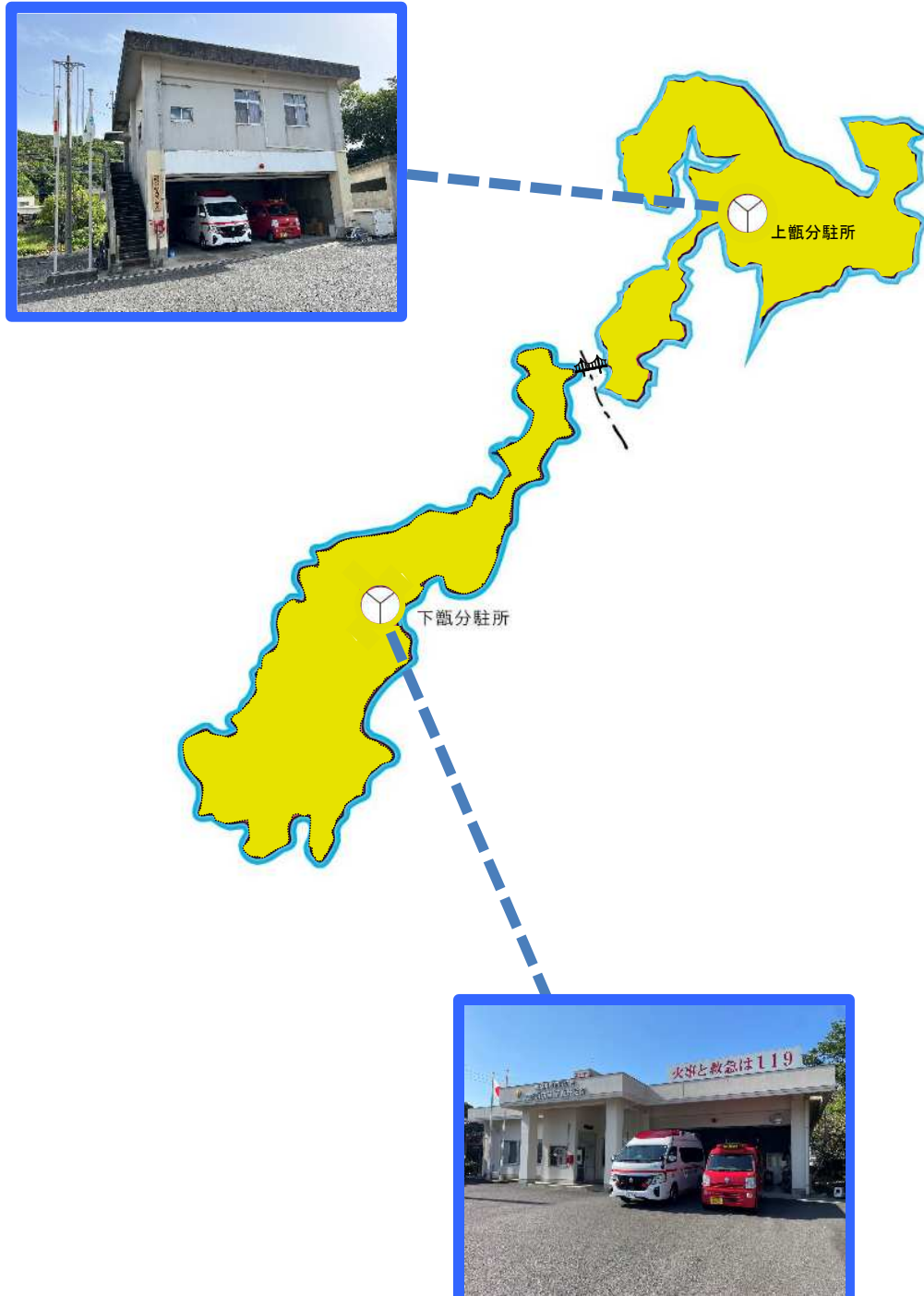
令和7年4月1日現在

区分 名称	所在地	敷地面積 (㎡)	構造	延面積 (㎡)	完成年月日	電 話
消 防 本 部 ・ 中 央 消 防 署	薩摩川内市中郷町 5031番地 1	9,158	鉄筋コンクリート 造 3 階 建	4376.84	H 26. 3. 14	0996- 22-0119 (代表)
訓練主塔			鉄筋コンクリート 造 7 階 建	258.36	H 26. 7. 25	0996- 22-0124 (消防総務課)
訓練副塔			鉄筋コンクリート 造 2 階 建	337.10	H 26. 5. 30	0996- 22-0125 (警防課)
訓練補助塔			鉄筋コンクリート 造 2 階 建	56.00	H 26. 7. 25	0996- 22-0135 (予防課)
附 属 車 庫 ・ 駐 輪 場			ア ル ミ 製	220.12	H 26. 6. 4	0996- 22-0143 (中央消防署)
南 部 分 署	〃 若松町 8番20号	565	鉄 骨 造 建 2 階	560.00	H 4. 3. 26	0996- 23-1360
南 部 分 署 消 毒 室			木 造 平 屋	18.24	R 2. 1. 27	
東 部 消 防 署	〃 入来町浦之名 727番地2	5,008	鉄筋コンクリート 造 2 階 建 (一 部 5 階)	543.00	S 58. 3. 18	0996- 44-3390
東 部 消 防 署 消 毒 室			木 造 平 屋	19.00	H 19. 12. 7	
東 部 消 防 署 補 助 車 庫			鉄 骨 造 1 階 建	57.00	H 22. 12. 14	
東 部 消 防 署 女性用宿直室			木造平屋	26.91	R6. 3. 15	
祁 答 院 分 署	〃 祁答院町下手 43番地1	1,378	鉄 骨 造 2 階 建	423.00	H 17. 10. 28	0996- 21-8620
西 部 消 防 署	〃 水引町 3397番地1	3,004	鉄筋コンクリート 造 2 階 建 (一 部 塔 屋)	835.00	S 59. 3. 26	0996- 26-3524
西 部 消 防 署 消 毒 室			木 造 平 屋	17.00	H 22. 3. 9	
上 甌 分 駐 所	〃 上甌町中甌 481番地1	140	鉄筋コンクリート 造 2 階 建	164.00	S 57. 2. 24	09969- 2-0377
上 甌 待 機 宿 舎 1 号 ・ 2 号	〃 〃 490番地5	227	〃	124.00	S 57. 2. 23	
上 甌 待 機 宿 舎 3 号	〃 〃 728番地	256	木 造 平 屋	70.00	H 12. 3. 10	
下 甌 分 駐 所	〃 下甌町長浜 913番地3	813	鉄筋コンクリート 造 平 屋 建	199.00	H 22. 2. 15	09969- 5-1057
下 甌 待 機 宿 舎 3 号	〃 〃 187番地2	205	木 造 平 屋	70.00	H 12. 3. 10	
下 甌 待 機 宿 舎 4 号	〃 〃 663番地4	※教職員住宅地 の一部を使用	コンクリートブロック造 平 屋 建	50.00	S 48. 1. 20	

【本土区域】



【甌島区域】



4. 消防大学校等入校・各種研修参加状況

令和6年4月1日～令和7年3月31日

機 関 名	研 修 科 目	研 修 期 間	人 員 (人)
消 防 大 学 校	第8回査察業務マネジメントコース	令和6年10月17日 ～ 令和6年10月23日	1
	第29回指揮隊長コース	令和6年4月22日 ～ 令和6年5月1日	1
鹿 児 島 県 消 防 学 校	第87期初任教育	令和6年4月3日 ～ 令和6年9月13日	6
	第29期救助科	令和6年10月1日 ～ 令和6年10月30日	3
	第16期予防査察科	令和6年11月18日 ～ 令和6年11月29日	2
	第19期火災調査科	令和6年12月10日 ～ 令和6年12月24日	2
	第31期救急科	令和7年1月23日 ～ 令和7年3月18日	3
	実火災体験型研修	令和6年11月12日・12月3日	5
救 急 振 興 財 団	第43期救急救命士新規養成研修	令和6年8月28日 ～ 令和7年3月10日	1
川 内 市 医 師 会 立 市 民 病 院	救急救命士の再教育病院実習	令和6年10月1日 ～ 令和7年3月31日	23
	救急救命士気管挿管実習	令和6年11月27日 ～ 令和7年2月13日	1
公 益 財 団 法 人 安 全 衛 生 技 術 試 験 協 会	潜水士免許試験	令和6年8月25日	1
公 益 社 団 法 人 鹿 児 島 県 労 働 基 準 協 会	小型移動式クレーン技能講習	令和6年7月8日 ～ 令和6年7月10日	2
	玉掛け技能講習	令和6年9月24日 ～ 令和6年9月26日	2
	車両系建設機械(解体用)運転技能講習	令和6年11月11日	3
公益財団法人日本無線協会	主任無線従事者講習	令和6年8月21日・23日	3
鹿 児 島 県 消 防 長 会	合同消防実務研修	令和6年10月18日	3
九 州 消 防 長 会	九州地区警防実務	令和6年12月2日 ～ 令和6年12月13日	1
	九州地区大規模災害対応実務研修会	令和7年3月3日 ～ 令和7年3月7日	1
薩 摩 川 内 地 区 安 全 運 転 管 理 協 議 会	安全運転管理者等の法定講習	令和6年9月11日	3

5. 職員の階級別年齢状況

令和7年4月1日現在(単位:人)

階級 年齢	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	その他	計
18							1		1
19							4		4
20							4		4
21							5		5
22							9		9
23							8		8
24							3		3
25									
26						4	2		6
27						5	2		7
28					2	8			10
29						3			3
30					2				2
31					4				4
32					1				1
33					6				6
34					2			1	3
35					2				2
36					2				2
37					4				4
38				2	2	1			5
39				6	2				8
40				2	1				3
41				1					1
42				1	1				2
43				2					2
44				2					2
45				3					3
46				5	1				6
47			4	1					5
48			5	1	1				7
49			2						2
50			5						5
51		1	1						2
52		1	3						4
53			2						2
54			1						1
55			1						1
56		1	2						3
57	1	2	1						4
58		1	1						2
59		1	1						2
60				1					1
60以上					1				1
合計	1	7	29	27	34	21	38	1	158
平均年齢	57.0	55.7	51.2	43.2	34.1	28.0	22.1	34.0	36.2

6. 職員の勤続年数状況

令和7年4月1日現在(単位:人)

階級 年数	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	その他	計
1年未満							6		6
1～2							10		10
2～3							6		6
3～4							4		4
4～5						1	5		6
5～6						1	7		8
6～7						4			4
7～8						5			5
8～9						6			6
9～10					1	3			4
10～11					4				4
11～12					3				3
12～13					3				3
13～14					3				3
14～15					3				3
15～16					1				1
16～17					3				3
17～18				3	3	1		1	8
18～19				1	5				6
19～20				1					1
20～21			1	4	1				6
21～22			1	3					4
22～23				1	1				2
23～24				1					1
24～25									
25～26			1	2					3
26～27			1	5					6
27～28			1	2					3
28～29				3	1				4
29～30			2		1				3
30～31			7						7
31～32									
32～33			7						7
33～34		1	2						3
34～35		1							1
35年以上	1	5	6	1	1				14
合計	1	7	29	27	34	21	38	1	158
平均年数	38.0	37.5	31.2	23.5	16.0	7.6	2.3	17.0	21.6

7. 職員の配置状況

令和7年4月1日現在(単位:人)
※ 再任用職員を除く

区 分 所 属			計	消 防 職 員								
				消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	その他	
局 長			1	1								
消	消防総務課	課 長	1		1							
		課 長 代 理	1			1						
		企 画 総 務 係	3				1		1		1	
		施 設 装 備 係	2				1	1				
		小 計	7		1	1	2	1	1		1	
防	警防課	課 長	1		1							
		課 長 代 理	1			1						
		主 幹	1			1						
		警 防 救 急 係	1					1				
		消 防 団 係	1				1					
本 部	予防課	小 計	5		1	2	1	1				
		通信指令課	課 長	1		1						
			課 長 代 理	1			1					
			主 幹	1			1					
			予 防 調 査 係	1					1			
	危 険 物 係		1				1					
	小 計	5		1	2	1	1					
消 防 署	通信指令課	課 長	1		1							
		課 長 代 理	1			1						
		主 幹	3			2	1					
		第 1 指 令	1					1				
		第 2 指 令	3				2	1				
		小 計	9		1	3	3	2				
	計	26		4	8	7	5	1		1		
消 防 署	中 央 消 防 署	43		1	4	8	9	3	18			
	南 部 分 署	22			5	2	6	2	7			
	東 部 消 防 署	22		1	4	4	2	4	7			
	祁 答 院 分 署	11			4	2	1	4				
	西 部 消 防 署	21		1	4	2	5	3	6			
	上 甌 分 駐 所	6				1	3	2				
	下 甌 分 駐 所	6				1	3	2				
計	131		3	21	20	29	20	38				
合 計			158	1	7	29	27	34	21	38	1	

8. 薩摩川内市消防局応援協定

令和 7年 4月 1日現在

番 号	協 定 の 種 類	消 防 本 部 名 等	締 結 年 月 日
1	ガス爆発等防止対策に関する申し合わせ	薩摩川内警察署 南日本ガス株式会社	昭和56年 3月17日 (平成6年12月26日)
2	LPガス漏れ及び爆発事故の防止対策に関する申し合わせ	警察機関電気事業者 ガス業者	昭和56年11月 1日 (平成16年10月12日)
3	鹿児島県消防・防災ヘリコプター応援協定	鹿児島県	平成16年10月12日
4	船舶火災の消火活動に関する業務協定	串木野海上保安部	平成16年10月12日
5	消防相互応援協定	鹿児島市	平成16年11月 1日
6	救急業務相互応援協定	鹿児島市	平成16年11月 1日
7	消防相互応援協定	さつま町	平成17年 4月 1日
8	消防及び救急業務相互応援協定	いちき串木野市	平成17年11月18日
9	消防及び救急業務相互応援協定	日置市	平成17年11月18日
10	消防及び救急業務相互応援協定覚書	鹿児島市	平成18年 8月 1日
11	消防及び救急業務相互応援協定	阿久根地区消防組合	平成18年 9月 1日
12	消防及び救急業務相互応援協定	出水市	平成18年10月 1日
13	鹿児島県消防相互応援協定覚書	各消防本部	平成18年10月25日
14	南九州西回り自動車道における緊急時の 通報並びに出動に関する協定	鹿児島国道事務所 県警・いちき串木野市	平成19年 3月 1日
15	南九州西回り自動車道における消防相互応援協定	鹿児島市・日置市 いちき串木野市	平成19年 3月 2日
16	緊急時におけるクレーン車のリース等に関する協定	西薩クレーン協会	平成19年 7月 5日
17	救急業務の応援に関する覚書	鹿児島市	平成21年10月 1日
18	消防及び救急業務相互応援協定	始良市	平成22年 3月23日
19	鹿児島県ドクターヘリ運航事業における 救急車搬送に関する相互応援協定	各市町村	平成23年12月22日
20	薩摩川内市消防局下甑分駐所管内にお ける消火活動に関する協定	航空自衛隊 下甑島分屯基地	平成25年 3月11日
21	南九州西回り自動車道(薩摩川内水引IC～市来IC) における緊急時の通報並びに出動に関する覚書	鹿児島国道事務所 県警・いちき串木野市	平成27年 3月 5日
22	エボラ出血熱患者の移送に伴う協定	川薩保健所	平成27年 3月26日
23	エボラ出血熱患者の移送に関する覚書	川薩保健所	平成27年 3月26日
24	薩摩川内市消防局と川内市医師会との 救急業務の協力に関する協定	川内市医師会	平成29年 6月29日
25	鹿児島県消防相互応援協定(再締結)	各市町村、一部事務組合	平成30年12月20日
26	災害時における消防用水の確保に関する協定	川薩地区生コンクリート協同組合 甑島地区生コンクリート協同組合	令和3年10月1日

9. 予算の比較

(単位：千円、%)

年次	一般会計当初予算	消防費	一般会計当初予算に対する割合
令和4年度	53,470,000	2,079,945 〔 1,911,464 〕	3.9% 〔 3.6% 〕
令和5年度	54,540,000	2,714,790 〔 2,536,870 〕	5.0% 〔 4.7% 〕
令和6年度	57,560,000	3,755,961 〔 3,292,595 〕	6.5% 〔 5.7% 〕

※〔 〕は、消防局所管予算

10. 消防費と人口の比較

区分	1世帯あたりの予算	1人あたりの予算
令和6年度一般会計当初予算額	1,242,311 円	593,678 円
うち消防費	81,064 円	29,551 円
うち消防局所管分	71,064 円	27,614 円

※令和6年4月1日現在の人口及び世帯数で算出

11. 消防費の内訳

(単位：千円)

区分		令和6年度当初予算額
消防局所管分	常備消防費	2,947,317
	人件費	1,147,178
	会計年度任用職員(月額)経費	3,492
	報償費	327
	旅費	9,122
	需用費	91,481
	役務費	10,650
	委託料	1,599,072
	使用料及び賃借料	66,412
	備品購入費	12,840
	負担金補助及び交付金	5,250
	公課費	1,493
	常備消防施設費	137,441
	旅費	89
	役務費	555
	委託料	0
	工事請負費	91,731
	備品購入費	45,000
	公課費	66
	非常備消防費	192,076
	非常備消防施設費	15,761
計		3,292,595
水防費		303
災害対策費		463,063
合計		3,755,961

12. 消防職員特殊技能その他資格取得状況

令和7年4月1日現在(単位:人)

種 別		区 分		消 防 員				更 員			事務吏員	計
				消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士		
自動車運転免許	一 種	大 型		1	7	29	27	34	20	14		132
		中 型					1	1				2
		普 通		1	7	29	27	34	21	38	1	158
		大 型 特 殊				2	2	2				6
	二 種	けん引				1	1					2
		大 型			1	6	5	2				14
		普 通				5	5	1				11
	自 動 二 輪				5	23	20	16	3	1	1	69
	救 急 救 命 士				1	11	9	9	5	6		41
	応 急 手 当 指 導 員				1	9	3					13
	薬 剤 投 与 認 定					9	6	4	2	3		24
	気 管 挿 管 認 定				1	14	7	3				25
	自 動 車 整 備 士 3 級											
	移 動 式 クレーン 運 転 士											
	小型移動式クレーン技能講習			1	2	14	13	4				34
	玉 掛 技 能 講 習				1	12	12	2				27
消防設備士	消 防 設 備 士	甲 種 第 4 類				1						1
		乙 種 第 1 類				1	6	1				8
		乙 種 第 2 類				1	4					5
		乙 種 第 3 類				1	2					3
		乙 種 第 4 類				2	8	6		1		17
		乙 種 第 5 類				1	5					6
		乙 種 第 6 類				1	9	3		1		14
	消防設備点検資格者	乙 種 第 7 類				1	1		1			3
		第 1 種			1							1
	危険物取扱者	第 2 種			1							1
		甲 種				1						1
		乙 種	第 1 類		1	1	11	10	1	2		26
			第 2 類		1	1	8	6	1	1		18
			第 3 類		1	1	8	4	1	1		16
			第 4 類	1	5	23	27	24	12	11		103
			第 5 類		1	1	9	4	1	1		17
			第 6 類		1	2	8	10	1	2		24
		丙 種				1	1					2
	陸上特殊無線技師	2 級				1	1	1				3
		3 級			3	18	23	14	2			60
	第4級アマチュア無線技士			1	2	2						5
	電 気 工 事 士					3	3	4	1			11
	認定電気工事従事者							1				1
	毒・劇物取扱者						1					1
	ガス溶接技能講習					1	1					2
	アーク溶接特別教育					1						1
	ボイラー技師2級							1		2		3
	小型船舶操縦士	1 級				2	2	1				5
		2 級		1	1	4	5	2	1			14
	潜 水 士					7	13	6	6	3		35
	車両系建設機械技能講習					5	9	6				20
	車両系建設機械技能講習(解体用)					5	8	3				16
	小型車両系建設機械技能講習			1		7	2					10
	石油機器技能管理士											
	特定化学物質作業主任者											
	防火対象物点検資格者											
	防災管理点検資格者											
予防技術資格者	防 火 査 察	防 火 査 察		2	5	15	18	7	2			49
		消防用設備等		2	2	13	7					24
		危 険 物		2		8	7	1				18
	防 災 士			4	3	3	4			1		15

Ⅲ. 予防

1. 地域別火災発生状況

令和6年1月1日～令和6年12月31日

地域別 区分			川内	樋脇	入来	東郷	祁答院	里	上甌	下甌	鹿島	計
火 災 件 数 (件)			21	5	4	4	4					38
火災種別	建 物 火 災 (件)		10	3		3						16
	林 野 火 災 (件)		2		1		1					4
	車 両 火 災 (件)		1	1	1							3
	船 舶 火 災 (件)											
	そ の 他 (件)		8	1	2	1	3					15
焼損棟数		住 家 (棟)	7	1	1	1						10
		非 住 家 (棟)	4	5	1	4						14
り 災 世 帯 数			13	1	1	1						16
り 災 人 員 数 (人)			26	1	1	1						29
焼失面積		建物	床 面 積 (㎡)	300	416	24	308					1,048
			表 面 積 (㎡)	1	2		8					11
		林 野 等 (a)		2		24		2				
死 傷 者		死 者 (人)	1			1						2
		傷 者 (人)	2									2
損害額	建 物 火 災 (千円)		16,497	12,137	36	7,003						35,673
	林 野 火 災 (千円)						17					17
	車 両 火 災 (千円)		107	419	36	930						1,492
	船 舶 火 災 (千円)											
	そ の 他 (千円)		21	111	3	24						159
	計 (千円)		16,625	12,667	75	7,957	17					37,341

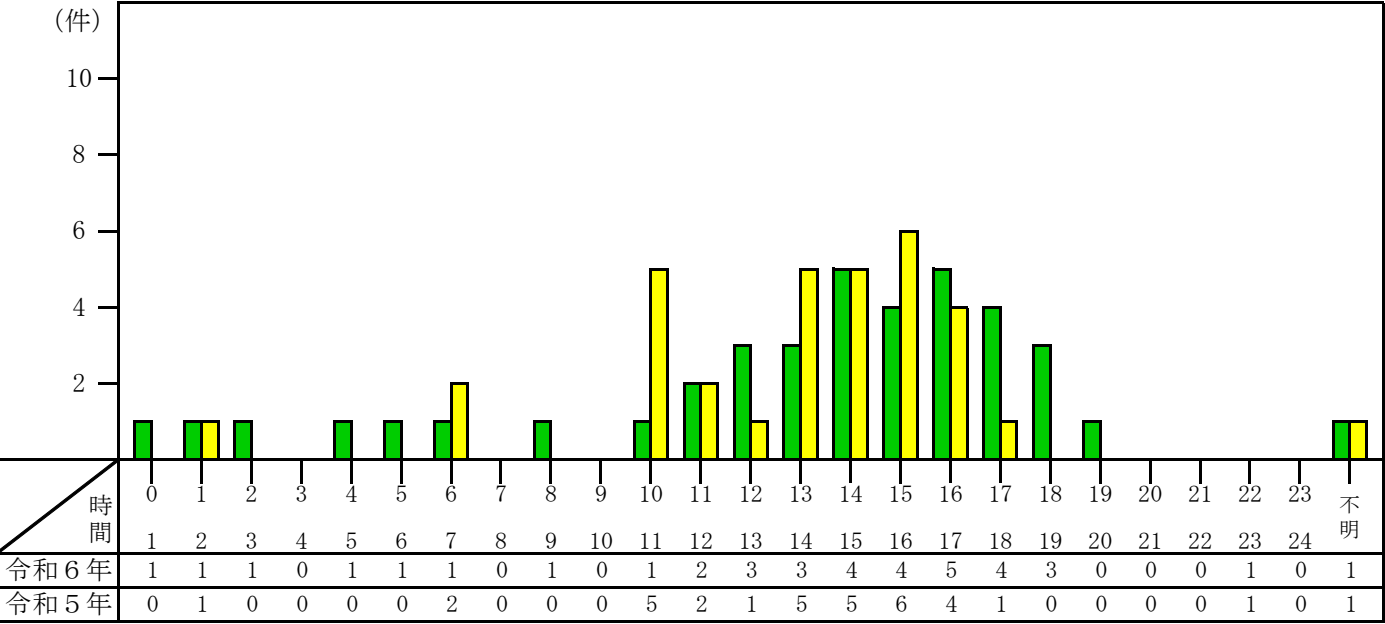
2. 月別火災発生状況

令和6年1月1日～令和6年12月31日

月別 区分			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
火災種別	建物火災 (件)					3	2	1		3		2	2	3	16
	林野火災 (件)							1			2		1		4
	車両火災 (件)								1				1	1	3
	船舶火災 (件)														
	そ の 他 (件)		1	1	3		2		1	4		1	2		15
	計 (件)		1	1	3	3	4	2	2	7	2	3	6	4	38
損害額	建物火災 (千円)					17,900	68			16		1,240	5	16,444	35,673
	林野火災 (千円)							17							17
	車両火災 (千円)					930			419				35	108	1,492
	船舶火災 (千円)														
	そ の 他 (千円)								96	13		24	23	3	159
	計 (千円)					18,830	68	17	515	29		1,264	63	16,555	37,341
焼損棟数	住家	全焼 (棟)				2								1	3
		半焼 (棟)												1	1
		部分焼 (棟)													
		ぼや (棟)						1		3			1		5
	非住家	全焼 (棟)				2						2		3	7
		半焼 (棟)				1									1
		部分焼 (棟)										2			2
		ぼや (棟)				1	2						1	1	5
り災世帯数						2		1		3		9	1		16
り災人員数 (人)						2		5		10		9	3		29
死傷者	死 者 (人)					1				1					2
	傷 者 (人)												1	1	2
焼失面積	建物	床面積 (㎡)				712						12		324	1,048
		表面積 (㎡)					1					10			11
	林 野 等 (a)							2			2		24		28

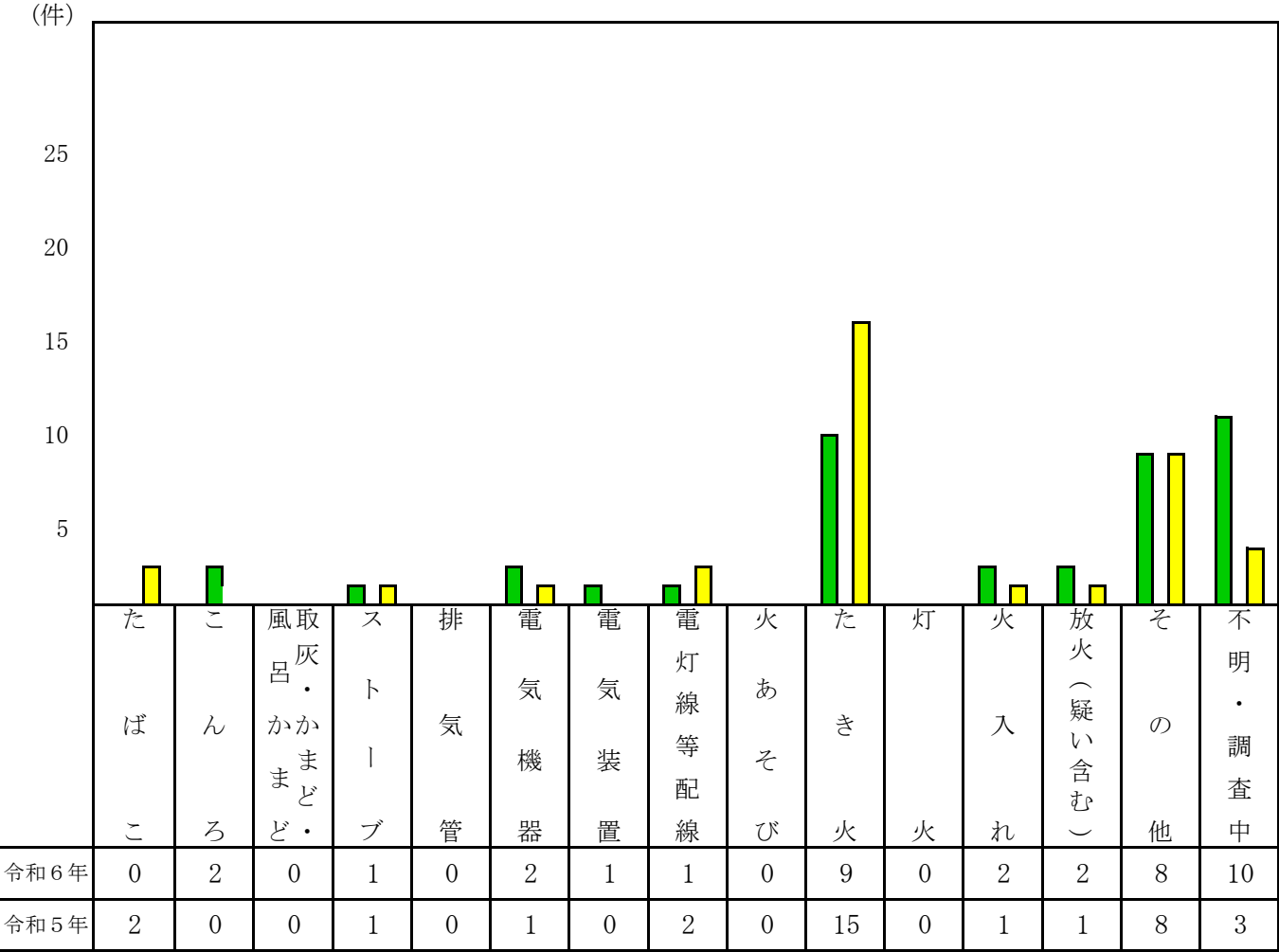
3. 時間別火災発生状況

令和 6 年 令和 5 年

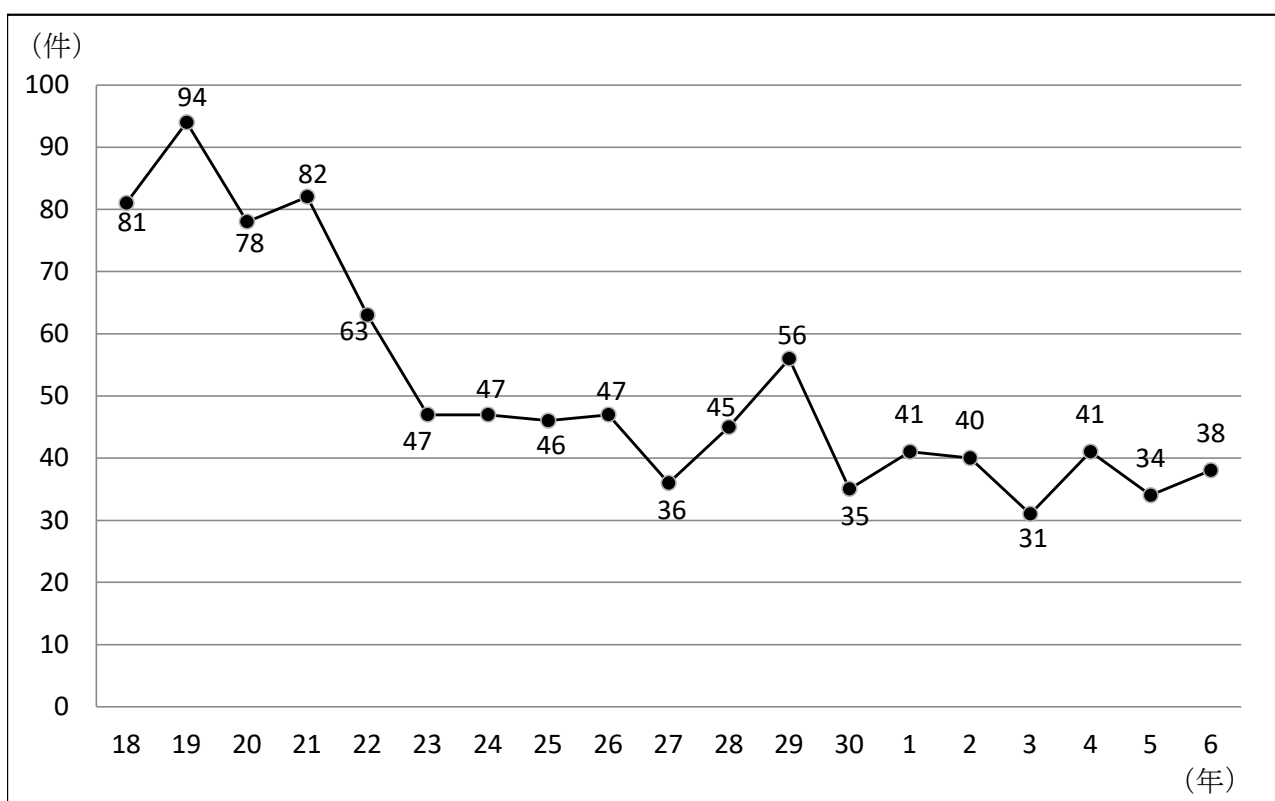


4. 原因別火災発生状況

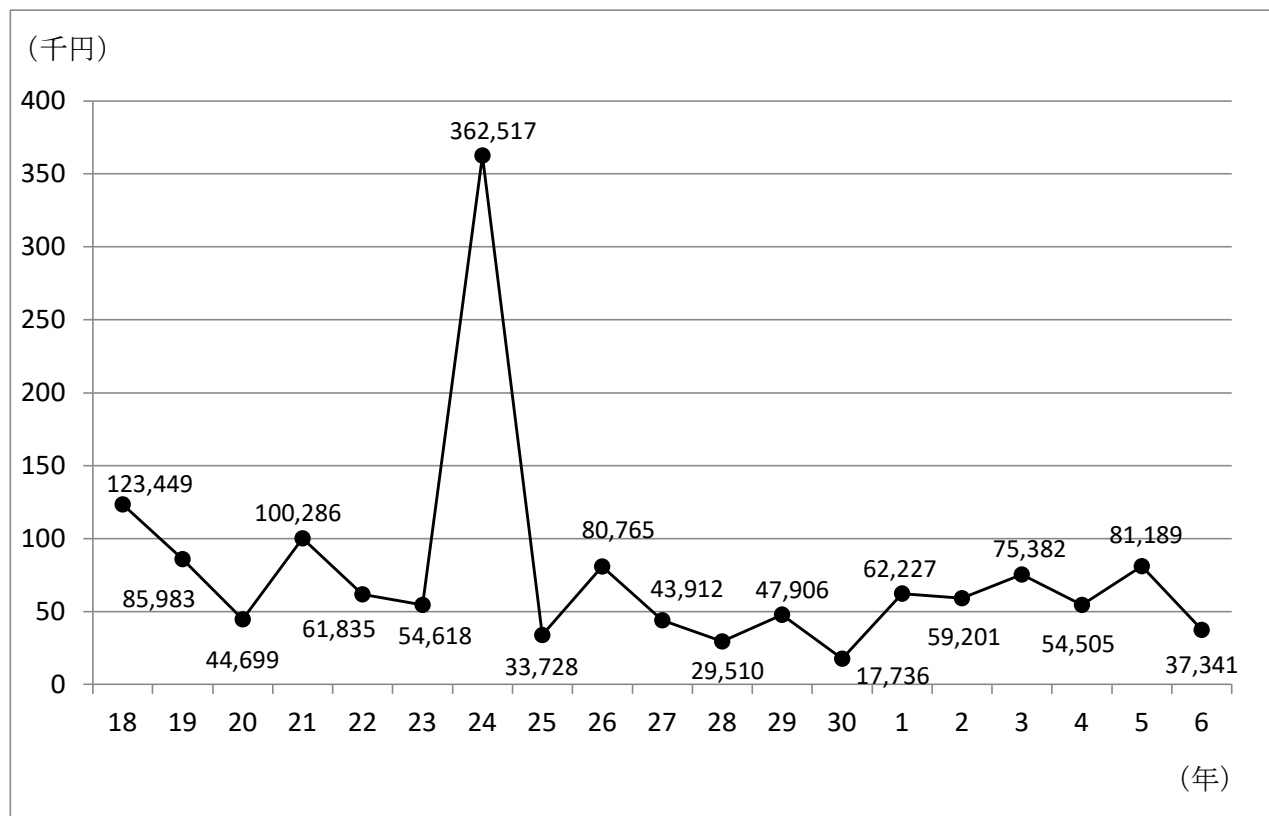
令和 6 年 令和 5 年



5. 火災発生件数の推移



6. 火災損害見積額の推移



7. 防火対象物現況

(単位：棟)
令和7年4月1日現在

区分		署所	中央消防署 (含南部分署)	東部消防署 (含祁答院分署)	西部消防署	上甌分駐所	下甌分駐所	計
1	イ	劇場・観覧場類	5			1		6
	ロ	公会堂・集会場類	18	5		1	1	25
2	イ	キャバレー・ナイトクラブ類						
	ロ	遊技場・ダンスホール	13					13
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗						
	ニ	カラオケボックス等	1					1
3	イ	待合・料理店類						
	ロ	飲食店	60	5	8	3	1	77
4		百貨店・物品販売店舗	137	17	5	1	2	162
5	イ	旅館・ホテル類	40	6	9	6	11	72
	ロ	寄宿舎・共同住宅類	1,015	36	5	22	29	1,107
6	イ	病院・診療所又は助産所	70	11	6	2	4	93
	ロ	老人短期入所施設等	43	16	9	4	4	76
	ハ	老人デイサービスセンター等	102	31	12	2	3	150
	ニ	幼稚園又は特別支援学校	6	2		2		10
7		学校	131	32	8	8	10	189
8		図書館・博物館類	5	4	2		1	12
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場類						
	ロ	イに掲げるもの以外の公衆浴場	2	6	2			10
10		車両の停車場				1	1	2
11		神社・寺院・教会類	28	9	4	4	7	52
12	イ	工場・作業場	297	123	69	10	10	509
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ						
13	イ	自動車車庫・駐車場	51	19	11		1	82
	ロ	飛行機の格納庫						
14		倉庫	191	65	70	9	7	342
15		前各号に該当しない事業場	397	298	62	37	35	829
16	イ	前1～4・5イ・6・9イの存する 複合用途防火対象物	238	24	5	12	7	286
	ロ	イに掲げるもの以外の複合用 途防火対象物	157	18	9	6	2	192
18		アーケード	5					5
計			3,012	727	296	131	136	4,302

8. 建築同意事務処理状況

(単位：件)
令和6年4月1日～令和7年3月31日

区分 \ 署別	中央消防署 (含南部分署、 上甗・下甗分駐所)	東部消防署 (含祁答院分署)	西部消防署	計
新 築	94	10	5	109
増 築	7	2	1	10
改 築	1			
移 転				
修 繕				1
模 様 替				
用 途 変 更	2	1		2
そ の 他				
合 計	104	13	6	123

区分 \ 署別	中央消防署 (含南部分署、 上甗・下甗分駐所)	東部消防署 (含祁答院分署)	西部消防署	計
建築申請通知(一般住宅)	258	13	1	272

9. 防火対象物定期点検報告制度実施状況

(単位:棟)
令和6年4月1日～令和7年3月31日

防火対象物の区分		防火対象物定期点検報告制度実施状況									
		該当数		点検報告済		特例認定済		一部点検済又は 特例認定済		未実施又は 特例認定申請中	
		1号	2号	1号	2号	1号	2号	1号	2号	1号	2号
1項	イ	1						1		1	
	ロ	11				6				5	
2項	イ										
	ロ	8				4		2		2	
	ハ										
	ニ		1								1
3項	イ										
	ロ	2	2		1					2	1
4項		15		4				12		3	
5項	イ	3	3				1	2		2	1
6項	イ	1	1					1			
	ロ										
	ハ										
	ニ										
9項	イ										
16項	イ	14	5	1	1	8	3	2	4		
16項の2											
合計		55	12	5	2	18	4	20	4	15	3

※1号とは、消防法施行令第4条の2の2の1号に定める人員300人以上のもの。

※2号とは、同第2号に定める特定1階段等防火対象物。

10. 中高層建築物一覧表

(単位:棟)
令和7年4月1日現在

階数	署別	中央消防署 (含南部分署)	東部消防署 (含祁答院分署)	西部消防署	上顰分駐所	下顰分駐所	計
3	階	426	36	17	16	25	520
4	階	206	18	4			228
5	階	71	8	5		3	87
6	階	13	3	3	1		20
7	階	11					11
8	階	3					3
9	階	2					2
10	階	3					3
11	階	2					2
12	階	2					2
13	階	1					1
14	階	1	1				2
15	階	2					2
合 計		743	66	29	17	28	883

11. 諸届出書の処理状況

(単位：件)
令和6年4月1日～令和7年3月31日

署 所 区 分		(含 中央南 消防署)	東 部 消 防 署	祁 答 院 分 署	西 部 消 防 署	上 甌 分 駐 所	下 甌 分 駐 所	合 計
薩摩川内市火災予防条例関係	防火対象物使用開始届出書	93	5		5		1	104
	炉・厨房設備・ボイラー等設置届出書	48	1			2		51
	発電・変電・蓄電池設備設置届出書	19	4	1	6	4	6	40
	ネオン管灯設備設置届出書							
	水素ガスを充てんする気球の設置届出書							
	火災と紛らわしい煙等を発するおそれのある行為等の届出書	78	107	59	19	9	6	278
	煙火打上・仕掛け届出書	24	5	8				37
	催物開催届出書	6		4				10
	水道断減水届出書	7		1	3		1	12
	道路工事届出書	237	36	16	42	21	36	388
	露店等の開設届出書	47	14	2	5	4	3	75
	指定洞道等設置届出書							
	少量危険物・指定可燃物貯蔵届出書	5	2	2	6			15
	小 計	564	174	93	86	38	53	1,010
消防法関係	液化石油ガス等の貯蔵又は取扱い届出書	55	4					59
	消防用設備等着工届出書	68	4	7	13		4	96
	消防用設備等設置届出書	258	18	7	20	2	7	312
	防火管理者選(解)任届出書	112	13	5	12	9	10	161
	消防計画作成(変更)届出書	135	13	6	16	9	8	187
	小 計	628	52	25	61	20	29	815
合 計		1,192	226	118	147	58	82	1,825

12. 予防査察実施状況

(単位：件)
令和6年4月1日～令和7年3月31日

署 所 区 分		中央消防署 (含南部分署)	東部消防署 (含祁答院分署)	西部消防署	上甌分駐所	下甌分駐所	計
1	イ 劇場・観覧場類	1			1		2
	ロ 公会堂・集会場類	1	1		1		3
2	イ キャバレー・ナイトクラブ類						
	ロ 遊技場・ダンスホール	1					1
	ハ 性風俗関連特殊営業を営む店舗						
	ニ カラオケボックス等	1					1
3	イ 待合・料理店類						
	ロ 飲食店	1	1	2			4
4	百貨店・物品販売店舗	24	2				26
5	イ 旅館・ホテル類	19	39	2	11		71
	ロ 寄宿舍・共同住宅類	2	5	3	22	1	33
6	イ 病院・診療所又は助産所	28	1	2	2	3	36
	ロ 老人短期入所施設等	43	12	5	4	4	68
	ハ 老人デイサービスセンター等	36	10	1			47
	ニ 幼稚園又は特別支援学校	2	2		2		6
7	学校	20	4		3	10	37
8	図書館・博物館類		1	2		4	7
9	イ 蒸気浴場・熱気浴場類						
	ロ イに掲げるもの以外の公衆浴場	1	2	1			4
10	車両の停車場	1			1	1	3
11	神社・寺院・教会類	10	3	3	4	2	22
12	イ 工場・作業場	67	24	13	9	2	115
	ロ 映画スタジオ・テレビスタジオ						
13	イ 自動車車庫・駐車場	5	5	3		1	14
	ロ 飛行機の格納庫						
14	倉庫	38	22	20	10	1	91
15	前各号に該当しない事業場	48	29	30	11	14	132
16	イ 前1～4・5イ・6・9イの存する複合用途防火対象物	91	7	2	5	3	108
	ロ イに掲げるもの以外の複合用途防火対象物	22	3	2	5	1	33
合 計		462	173	91	91	47	864

13. 地域別危険物施設現況

(単位：施設)
令和7年4月1日現在

地域 区分		川内	樋脇	入来	東郷	祁答院	里	上甑	下甑	鹿島	合計
製造所		2									2
貯蔵所	屋内貯蔵所	20	1			2		2	5		30
	屋外タンク貯蔵所	36	5	9	2		6	8	3		69
	屋内タンク貯蔵所	3		1					1		5
	地下タンク貯蔵所	58	1	1	4	3	1	1	4		73
	簡易タンク貯蔵所										
	移動タンク貯蔵所	38	7	6	4	1	3	4	4		67
	屋外貯蔵所	2							3		5
	計	157	14	17	10	6	10	15	20		249
取扱所	給油取扱所	59	8	8	5	7	3	6	7		103
	移送取扱所	2						1			3
	一般取扱所	67	3	3	3	1	2	8	6		93
	第一種販売取扱所	1									1
	第二種販売取扱所	1									1
	計	130	11	11	8	8	5	15	13		201
合計		289	25	28	18	14	15	30	33		452

14. 危険物施設の数量及び類別状況

(単位：施設)
令和7年4月1日現在

施設区分		数量・類別		数量別								類別								
				5 倍以下	5 倍を超え 10倍以下	10 倍を超え 50倍以下	50 倍を超え 100倍以下	100 倍を超え 150倍以下	150 倍を超え 200倍以下	200 倍を超え 1,000倍以下	1,000 倍を超え もの	計	単 独						混 在	計
													第 1 類	第 2 類	第 3 類	第 4 類	第 5 類	第 6 類		
製 造 所		1		1						2				2				2		
貯 所	屋 内 貯 蔵 所	13	10	3	1	1	1	1		30				27			3	30		
	屋 外タンク貯 蔵 所	13	15	28	2	3		8		69				68		1		69		
	屋内タンク貯 蔵 所	4	1							5				5				5		
	地下タンク貯 蔵 所	36	8	15	2	7		5		73				73				73		
	簡 易タンク貯 蔵 所																			
	移 動タンク貯 蔵 所	50	8	6	3					67				66		1		67		
	屋 外 貯 蔵 所	2	2	1						5				5				5		
	計	118	44	53	8	11	1	14		249				244		2	3	249		
取 所	給 油 取 扱 所	9	8	39	18	8	8	13		103				103				103		
	移 送 取 扱 所						1	2		3				3				3		
	一 般 取 扱 所	34	15	27	10		3	4		93	1			87			5	93		
	第一種販売取扱所			1						1				1				1		
	第二種販売取扱所			1						1				1				1		
	計	43	23	68	28	8	12	19		201	1			195			5	201		
合 計		162	67	122	36	19	13	33		452	1			441		2	8	452		

15. 危険物施設の許可等処理状況

(単位：件)
令和6年4月1日～令和7年3月31日

種別 施設区分		許 可		完 成 検 査		廃 止 届	承 認		
		設 置	変 更	設 置	変 更		仮 使 用	仮 貯 蔵	仮 取 扱
製 造 所									
貯 蔵 所	屋 内 貯 蔵 所								
	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所					1			
	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所								
	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	1		1					
	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所								
	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	4	2	4	2	1			
	屋 外 貯 蔵 所	1		1		1			
	計	6	2	6	2	3			
取 扱 所	給 油 取 扱 所	1	13		15	3	11		
	移 送 取 扱 所								
	一 般 取 扱 所	2	13	3	14	1	11		
	第 一 種 販 売 取 扱 所								
	第 二 種 販 売 取 扱 所								
	計	3	26	3	29	4	22		
合 計		9	28	9	31	7	22	24	6

16. 危険物施設の立入検査実施状況

(単位：件)
令和6年4月1日～令和7年3月31日

施設区分 \ 項目		検 査 施 設 数	延 回 数
製 造 所			
貯 蔵 所	屋 内 貯 蔵 所	12	12
	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	45	45
	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	2	2
	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	21	21
	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	61	62
	屋 外 貯 蔵 所	3	3
	計	144	145
取 扱 所	給 油 取 扱 所	93	93
	移 送 取 扱 所		
	一 般 取 扱 所	44	44
	第 一 種 販 売 取 扱 所		
	第 二 種 販 売 取 扱 所		
	計	137	137
合 計		281	282

IV. 敬防

1. 消防水利状況

(単位:基)
令和7年4月1日現在

区分 地域名	消 火 栓		防 火 水 槽					その他
	総 数	格納箱	総 数	40t以上	40t未満	有 蓋	無 蓋	
川 内	1,699		468	169	299	468		31
樋 脇	252	206	78	74	4	78		4
入 来	182	126	61	40	21	61		3
東 郷	111		104	101	3	103	1	1
祁 答 院	95	54	112	61	51	112		6
里	44	5	31	28	3	31		3
上 甕	79	73	21	19	2	21		6
下 甕	100	83	44	37	7	44		
鹿 島	19	17	10	8	2	10		
合 計	2,581	564	929	537	392	928	1	54

※ 「その他」は、プール・自然水利等

※ 防火水槽の「無蓋」について

東郷町斧渕司野上:四面フェンス処置あり

入来町朝陽村尾:全面フェンス被覆処置あり(有蓋扱い)

2. 消防車両等の概要

令和7年4月1日現在

番号	所 属	車 両 名	車 種	登 録 番 号	購入年度	経過年数	排気量 (cc)	重量 (kg)	車長 (cm)	車幅 (cm)	高さ (cm)	ポンプ等		備考
												メーカー	級	
1	消防本部	消防総務	指令車	ニッサン 鹿児島 800 す 6427	H 27	10	2,490	2,005	498	184	173			
2			連絡車Ⅰ(軽)	ニッサン 鹿児島 480 て 4980	H 26	11	650	1,350	339	147	179			
3			連絡車Ⅱ	トヨタ 鹿児島 800 す 9196	H 30	7	990	1,365	370	167	190			
4			ミニ運搬車(軽)	スズキ 鹿児島 480 は 5536	R 1	6	650	1,200	339	147	176			
5			資機材搬送車Ⅰ	日野 鹿児島 800 す 9364	H 30	7	4,000	7,455	769	218	267			クレーン付
6			小型バス	日野 鹿児島 200 さ 1647	H 28	9	4,000	5,485	699	203	258			乗車定員:29人
7			予備ポンプ車	日野 鹿児島 800 さ 7486	H 16	21	4,000	4,335	559	188	250	日本ドライケミカル	A-2	
8		警 防	本部指揮隊車	トヨタ 鹿児島 800 す 7009	H 27	10	2,690	2,690	538	188	248	ヨコハマモーターセールス		
9			警防連絡車Ⅰ	ニッサン 鹿児島 832 は 119	R 1	6	1,990	2,150	477	174	201			
10			警防指導車	ニッサン 鹿児島 430 の 119	R 6	1	1,990	3,105	469	169	199			
11			支援タンク車	日野 鹿児島 800 は 831	H 17	20	6,400	9,420	669	220	280	GMV いちはら工業	A-2	水 2t
12			支援救急車	トヨタ 鹿児島 800 す 4384	H 24	13	3,185	3,185	562	189	249			
13		予 防	予防指導車(軽)	三菱 鹿児島 880 あ 1459	H 26	11	650	1,430	339	147	194			
14			火災原因調査車	ニッサン 鹿児島 800 す 7010	H 27	10	1,990	3,275	474	169	215			
15	中央消防署	中 央	指揮車	ニッサン 鹿児島 830 つ 101	H 30	7	1,990	1,835	469	182	188			
16			ポンプ車	日野 鹿児島 830 す 102	R 4	3	4,000	5,605	590	194	296	日本ドライケミカル	A-2	
17			タンク車	日野 鹿児島 800 は 1994	H 29	8	5,120	10,780	732	235	302	小川ポンプ工業	A-2	水 2t
18			梯子車	日野 鹿児島 800 は 1469	H 24	13	8,860	20,290	1,145	249	353	モリタ	A-2	30m級
19			救助工作車	日野 鹿児島 830 セ 105	R 4	3	5,120	11,895	788	240	325	帝国繊維		クレーン付
20			高規格救急車Ⅰ	トヨタ 鹿児島 800 す 7724	H 28	9	2,690	3,195	565	189	249			
21			高規格救急車Ⅱ	トヨタ 鹿児島 800 す 5351	H 25	12	2,690	3,165	562	189	249			
22		南 部	指揮車(軽)	スバル 鹿児島 880 あ 590	H 20	17	650	1,420	339	147	197			
23			タンク車	日野 鹿児島 800 は 1690	H 26	11	6,400	10,010	727	228	286	日本ドライケミカル	A-2	水 2t
24			高所放水車	日野 鹿児島 800 は 1222	H 21	16	8,860	16,640	905	249	362	モリタ	A-1	25m級
25			高規格救急車	ニッサン 鹿児島 800 セ 2964	R 5	2	2,480	3,265	533	188	250			電動ストレッチャー
26	東部消防署	東 部	指揮車	ニッサン 鹿児島 800 す 8444	H 29	8	1,490	1,505	441	169	170			
27			タンク車	日野 鹿児島 800 は 1282	H 22	15	6,400	9,450	668	230	280	日本機械工業	A-2	水 2t
28			高規格救急車	トヨタ 鹿児島 800 す 9451	R 1	6	2,690	3,295	565	189	255			
29		祁答院	指揮車(軽)	ニッサン 鹿児島 880 あ 151	H 17	20	650	1,030	339	147	173			
30			タンク車	日野 鹿児島 830 す 603	R 3	4	5,120	10,700	729	230	298	日本ドライケミカル	A-2	水 2t
31			高規格救急車	ニッサン 鹿児島 800 す 6744	H 27	10	3,490	3,275	566	190	250			
32		西 部	指揮車	ニッサン 鹿児島 800 す 8450	H 29	8	1,490	1,515	441	169	170			
33			タンク車	日野 鹿児島 800 は 1383	H 23	14	6,400	9,810	715	229	284	日本ドライケミカル	A-2	水 2t
34			大型化学車	日野 鹿児島 800 は 1261	H 22	15	8,860	14,520	865	249	315	モリタ	A-1	泡原液 1.8t 水 1.5t
35			原液搬送車	日野 鹿児島 800 は 1307	H 22	15	7,680	12,750	683	244	285	モリタ		泡原液 5t
36			高規格救急車	ニッサン 鹿児島 830 セ 701	R 7	0	2,480	3,285	533	188	253			
37	西部消防署	上 販	指揮車(軽)	三菱 鹿児島 880 あ 1818	R 28	9	650	1,390	339	147	196			
38			普通救急車	ニッサン 鹿児島 830 そ 301	R 6	1	2,480	3,265	533	188	249			
39		下 販	指揮車(軽)	三菱 鹿児島 880 あ 1954	H 29	8	650	1,370	339	147	195			
40			普通救急車	ニッサン 鹿児島 800 セ 3050	R 6	1	2,480	3,265	533	188	250			

【総務省消防庁無償貸与車両等】

番号	所 属	車 両 名	車 種	登 録 番 号	年式	経過年数	排気量 (cc)	重量 (kg)	車長 (cm)	車幅 (cm)	高さ (cm)	ポンプ等		備考
												メーカー	級	
1	消防本部	警防	支援車Ⅰ型	日野 鹿児島 800 は 1276	H 22	15	12,910	19,620	1,100	249	355	ヨコハマモーターセールス		
2			重機搬送車	日野 鹿児島 800 は 1486	H 24	13	7,680	19,915	1,153	249	318	帝国繊維		クレーン付
3			燃料補給車	三菱 鹿児島 800 す 4352	H 24	13	2,990	4,035	468	169	222	第一実業		
4			建設機械(5トン級)	コマツ	H 24	13	2,189	563	557	196	2,630	コマツ		バケット0.16m³

3. 無線配備状況

(1) 常備消防

令和7年4月1日現在

基地局（6局）		寺山基地局・本部基地局・寄田基地局・祁答院基地局・上甌基地局・下甌基地局			
波 名 称		活動波 1（消防波）・活動波 2（救急波）・活動波 3（活動波）・主運用波 統制波 1・統制波 2・統制波 3			
所 属		無線機種別			
		可搬型	卓上型	車載型	携帯型
消 防 本 部	消 防 総 務 課			4	1
	警 防 課	3		8	5
	予 防 課			2	3
	通 信 指 令 課				5
中 央 消 防 署			※受令機 1	7	12
南 部 分 署			1	4	6
上 甌 分 駐 所			1	2	3
下 甌 分 駐 所			1	2	3
東 部 消 防 署			1	3	7
祁 答 院 分 署			1	3	5
西 部 消 防 署			1	5	7
合 計		3	7	40	57

(2) 非常備消防

令和7年4月1日現在

基地局（6局）			寺山基地局・本部基地局・寄田基地局・祁答院基地局・上甌基地局・下甌基地局			
波 名 称			活動波 4（消防団波）			
無線機種別 所 属			可搬型	卓上型	車載型	携帯型
団 本 部					1	10
市 役 所				※受令機 1		
中央大隊	大 隊 本 部					7
	川内南方面隊	川内中央南分団			4	1
		川 内 南 分 団			5	1
		平 佐 東 分 団			2	1
		高 江 分 団			1	1
	川内北方面隊	川内中央北分団			4	1
		下 東 郷 分 団			2	1
		高 城 東 分 団			2	1
		城 上 分 団			2	1
	東郷方面隊	東郷中央分団			2	1
		東 郷 東 分 団			2	1
		東 郷 西 分 団			2	1
西部大隊	大 隊 本 部				1	4
	西部方面隊	水 引 分 団			2	1
		高 城 西 分 団			2	1
		川 内 西 分 団			3	1
東部大隊	大 隊 本 部				1	7
	樋脇方面隊	樋 脇 北 分 団			2	1
		樋 脇 中 央 分 団			2	1
		市比野中央分団			2	1
		市 比 野 南 分 団			2	1
		入来方面隊	副 田 分 団			1
	清 色 分 団				1	1
	大 馬 越 分 団				1	1
	朝 陽 分 団				1	1
	祁答院方面隊	黒 木 分 団			1	1
		上 手 分 団			1	1
		下 手 分 団			2	1
藺 牟 田 分 団				2	1	
上甌大隊	大 隊 本 部				1	5
	上甌方面隊	里 分 団			3	1
		上 甌 分 団			9	2
下甌大隊	大 隊 本 部				2	5
	下甌方面隊	下 甌 北 分 団			8	1
		下 甌 南 分 団			6	1
		鹿 島 分 団			2	1
合 計				1	87	70

無線基地局 位置図



【甌島区域】



4. 気象状況

令和6年1月1日～令和6年12月31日

月 別	気 象 別	気温 (℃)			湿度 (%)		風 (m)			雨量 (mm)	
		平 均	最 高	最 低	最 小	平 均	平 均 風 速	平 均 風 向	最 大 瞬 間 風 速	時 間 最 大	月 積 算
1		7.9	18.3	-2.1	36	79	2.0	東	15.6	3.0	38.0
2		12.0	16.7	1.0	32	79	2.0	南南東	15.4	15.5	166.5
3		12.0	17.5	-0.8	17	73	2.6	北西	20.9	23.5	296.0
4		18.3	22.8	9.0	30	82	2.2	東	20.4	36.0	304.0
5		20.2	25.7	10.2	21	75	2.3	東北東	16.3	36.0	346.5
6		23.5	27.6	13.7	30	84	2.2	南南西	19.0	33.0	641.5
7		28.7	33.1	22.0	50	82	2.5	南南東	16.3	23.5	302.5
8		29.1	34.5	23.8	41	79	2.5	東北東	35.4	50.0	323.0
9		27.7	33.2	18.9	37	77	2.5	東	14.7	49.0	145.5
10		22.8	27.3	15.3	37	83	1.8	東	17.3	25.0	200.0
11		16.1	21.3	3.8	31	80	1.9	南南西	15.8	11.5	159.5
12		7.9	13.7	-1.5	35	78	1.8	北西	14.3	4.0	32.0

出典：気象庁ホームページ (<https://www.jma.go.jp/jma/index.html>)

V. 救急 及び救助

1. 地域別救急出場状況

(単位:件)

令和6年1月1日～令和6年12月31日

地域別 種別	川内地区	樋脇地区	入来地区	東郷地区	祁答院地区	里地区	上甌地区	下甌地区	鹿島地区	串木野	その他	合計
火 災	6	5	4	3								18
自然災害	1	1										2
水 難	7					1						8
交通事故	153	18	23	7	9	1	2	2			3	218
労働災害	35	2	4	3		1						45
運動競技	33	6	2	1	1							43
一般負傷	423	52	46	47	30	7	4	24		3		636
加 害	9											9
自損行為	26	1	4	2				1				34
急 病	2,057	228	166	133	140	26	49	60	16	21		2,896
転院搬送	794	8	11	5	11	16	31	35	6	30		947
そ の 他	38	5	2		2			1				48
計	3,582	326	262	201	193	52	86	123	22	54	3	4,904
前 年	3,632	331	252	203	195	44	81	155	13	53	2	4,961

2. 月別救急出場状況

(単位:件)

令和6年1月1日～令和6年12月31日

月別 種別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
火 災			1	3			2	3		2	2	5	18
自然災害						2							2
水 難	1	2			1	2		1	1				8
交通事故	7	18	12	16	18	12	21	26	14	30	15	29	218
労働災害	4	5	1	2	4	3	8	8	5		2	3	45
運動競技	1	1	2	6	1	3	10	9	4	4	1	1	43
一般負傷	61	53	51	47	54	35	52	60	42	56	65	60	636
加 害	2	1	1						2		1	2	9
自損行為	3	1	4	2	3	4	2	3	2	7	2	1	34
急 病	273	229	238	200	204	211	303	298	230	197	213	300	2,896
そ の 他	73	71	77	76	70	76	92	80	75	89	97	119	995
計	425	381	387	352	355	348	490	488	375	385	398	520	4,904

(種別のその他には転院搬送を含む)

3. 年齢区分別搬送人員

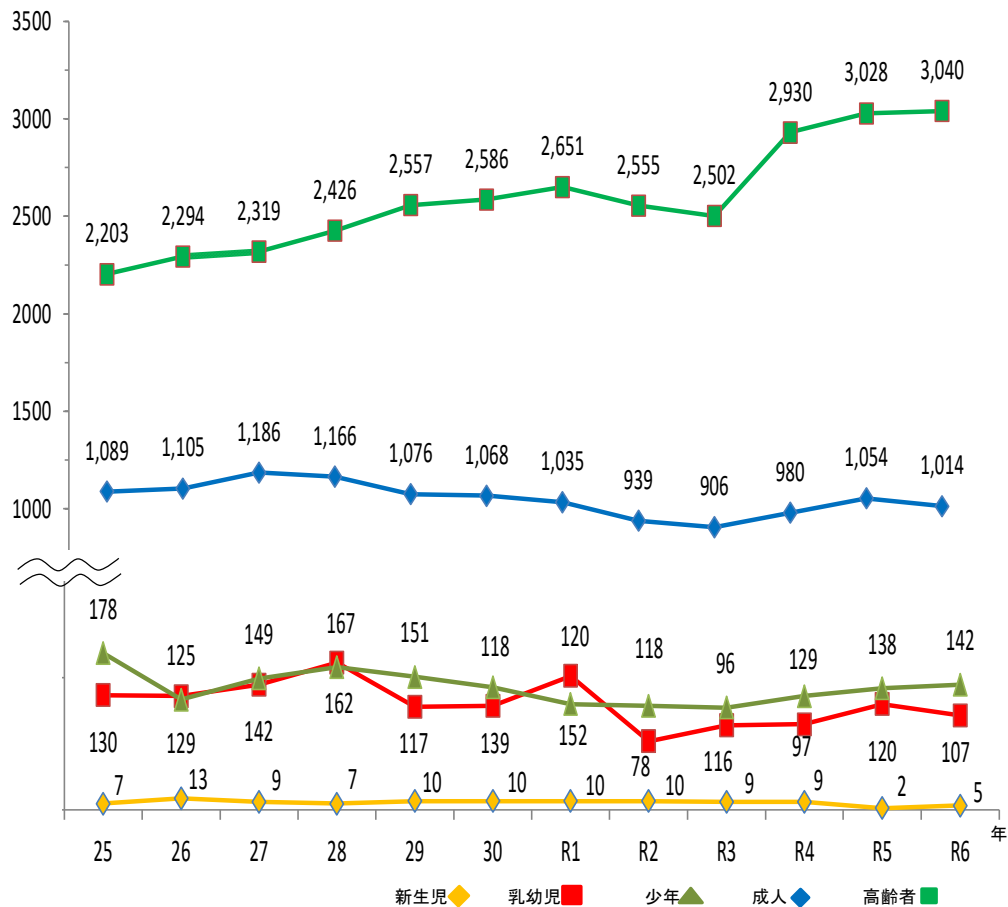
(単位:人)令和6年1月1日～令和6年12月31日

種別 \ 区分	新 生 児	乳 幼 児	少 年	成 人	高 齢 者	合 計
火 災					1	1
自 然 災 害						
水 難				2		2
交 通 事 故		5	23	95	65	188
労 働 災 害				31	14	45
運 動 競 技			35	5	2	42
一 般 負 傷		27	10	80	460	577
加 害				6		6
自 損 行 為			2	17	6	25
急 病	2	68	55	579	1,805	2,509
そ の 他	3	7	17	199	687	913
合 計	5	107	142	1,014	3,040	4,308
構 成 比 (%)	0	2	3	24	71	100
前 年	2	120	138	1,054	3,028	4,342
前 年 比	3	△ 13	4	△ 40	12	△ 34

新生児 生後28日未満
 乳幼児 生後28日以上～満7歳未満
 少年 満7歳以上～満18歳未満
 成人 満18歳以上～満65歳未満
 高齢者 満65歳以上

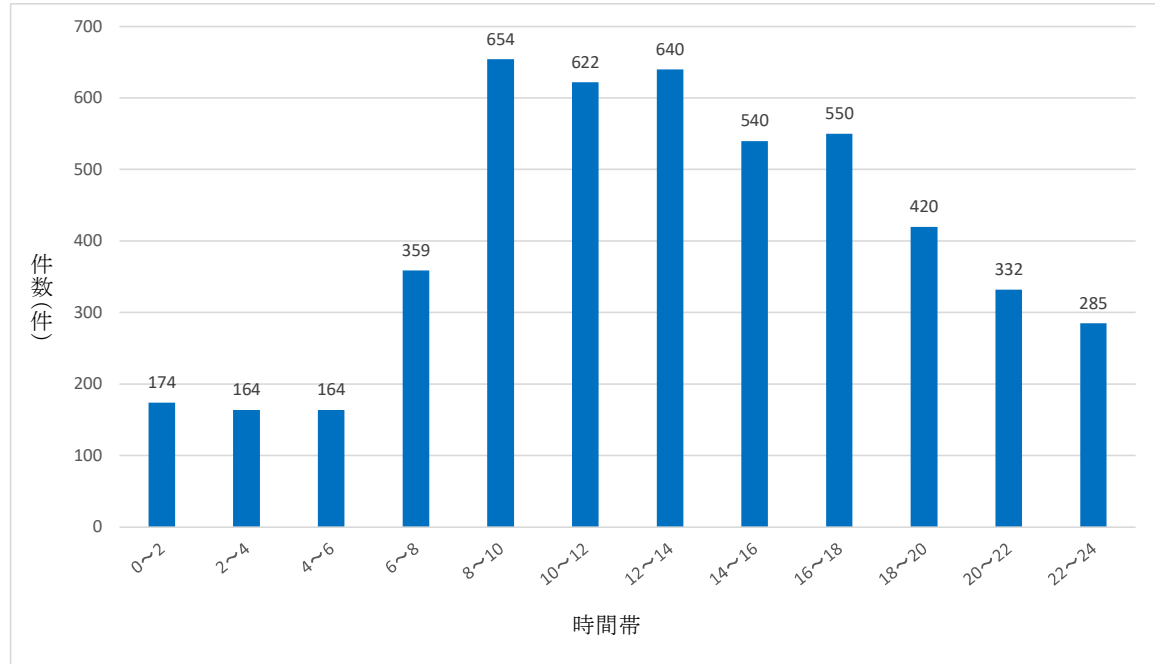
【年齢区分別推移】

人数



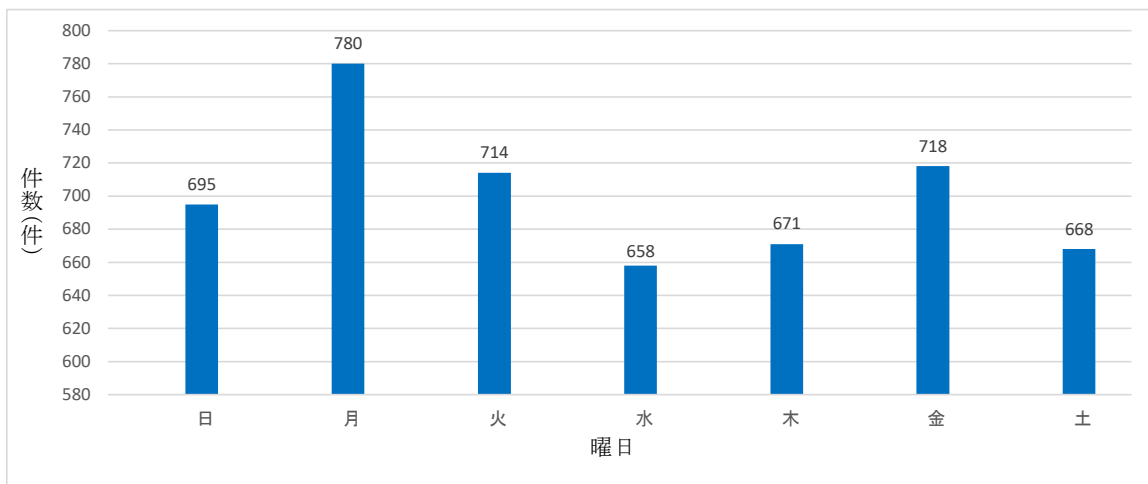
4. 時間別出場状況

令和6年1月1日～令和6年12月31日



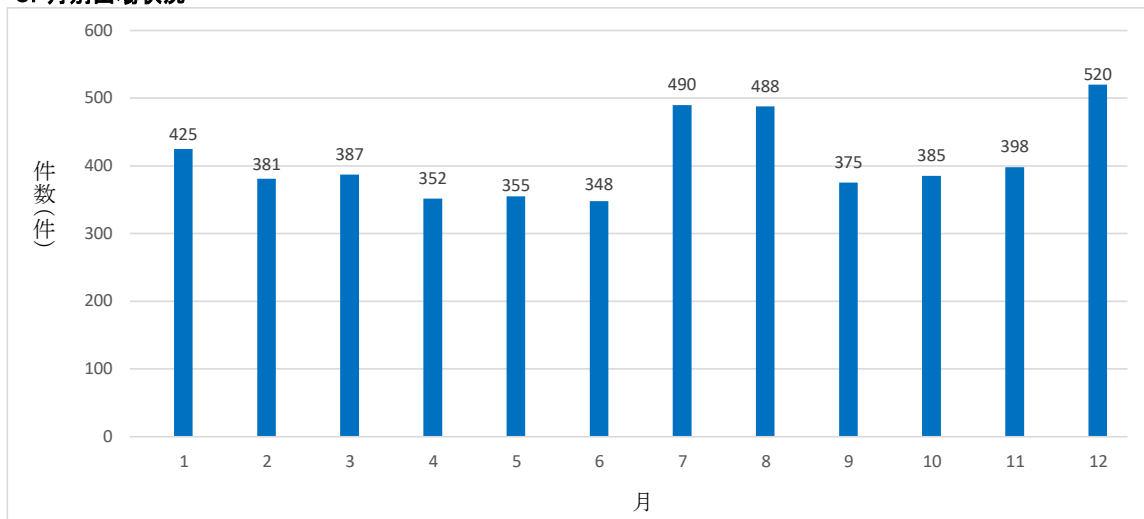
5. 曜日別出場状況

令和6年1月1日～令和6年12月31日



6. 月別出場状況

令和6年1月1日～令和6年12月31日



7. 救急隊員の行った応急処置状況（搬送者のうち）

令和6年1月1日～令和6年12月31日
(単位:件)

事故種別			急病	交通事故	一般負傷	その他	合計	前年	前年比	
応急処置										
止 血			6	7	52	7	72	60	12	
固 定			1	38	43	19	101	97	4	
心 肺 蘇 生			61	3	5	7	76	78	▲ 2	
酸 素 吸 入			423	11	26	253	713	698	15	
気 道 確 保 ただし、※1,2,3を除く			54	4	4	10	72	65	7	
保 温			51	1	14	15	81	37	44	
被 覆			10	53	120	15	198	185	13	
除 細 動			5				5	13	▲ 8	
拡大 応急 処置	在宅療法継続		2		1		3	2	1	
	※1 経鼻エアウェイ						0	2	▲ 2	
	咽頭鏡・鉗子						0	0	0	
	ショックパンツ						0	0	0	
	血 圧 測 定		2,360	180	542	957	4,039	4,050	▲ 11	
	聴診器による心音・呼吸音等聴取		362	36	24	42	464	406	58	
	血中酸素飽和度測定		2,437	186	560	1,017	4,200	4,220	▲ 20	
	心 電 図		1,593	71	184	419	2,267	2,411	▲ 144	
	特定 行為	静脈路確保	CPA前	5	1	3	1	10	13	▲ 3
			CPA後	35	1	3	4	43	51	▲ 8
		※2 ラリングアルマスク等		2				2	9	▲ 7
		※3 気 管 挿 管		21		2	2	25	21	4
		薬剤投与	アドレナリン	26	2	3	2	33	40	▲ 7
			ブドウ糖	7				7	6	1
		血 糖 値 測 定		60	2		3	65	50	15
その他の応急処置			2,409	180	553	959	4,101	4,160	▲ 59	
処 置 人 員			2,509	188	577	1,034	4,308	4,342	▲ 34	
構 成 比			58.2	4.4	13.4	24.0	100.0			

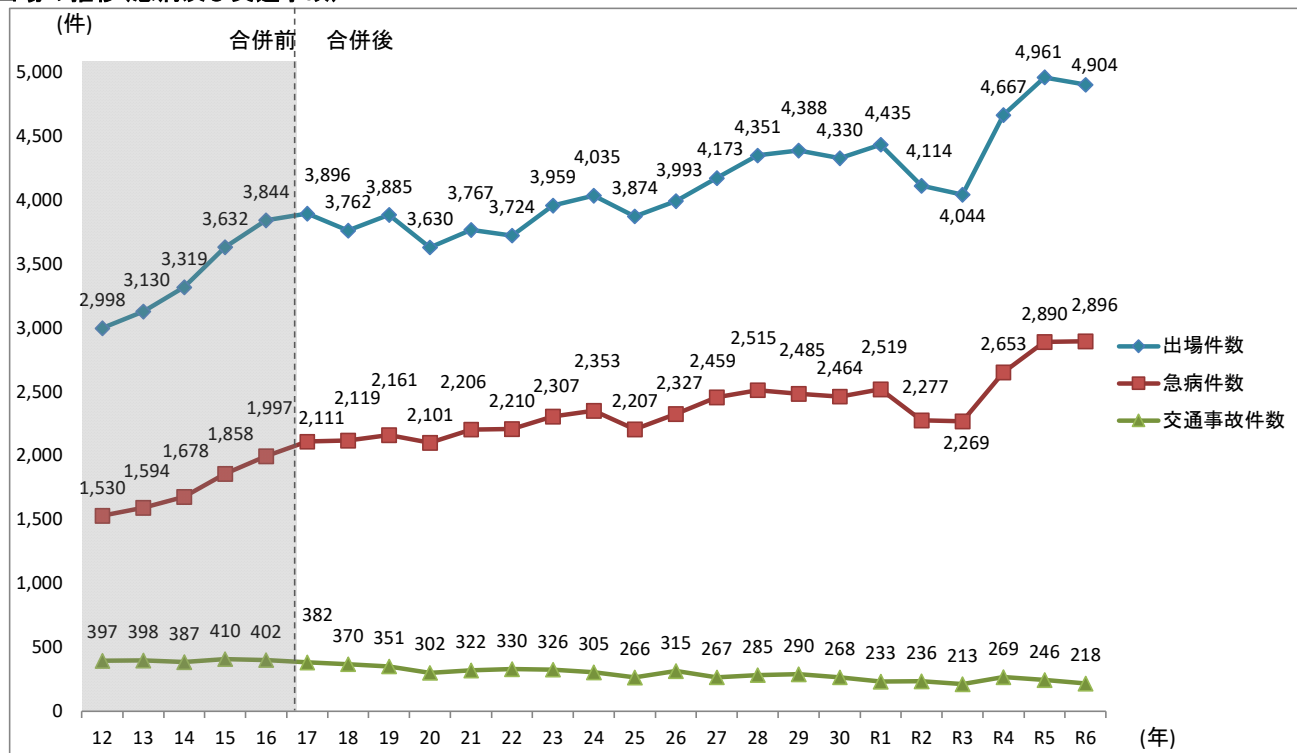
8. 不搬送原因別出場件数

令和6年1月1日～令和6年12月31日
(単位:件)

不搬送理由	辞退(到着前)	辞退(到着後)	拒否	明らかな死亡	他車(隊)搬送	傷病者なし	その他	計
出場件数	11	341	45	95	4	34	82	612

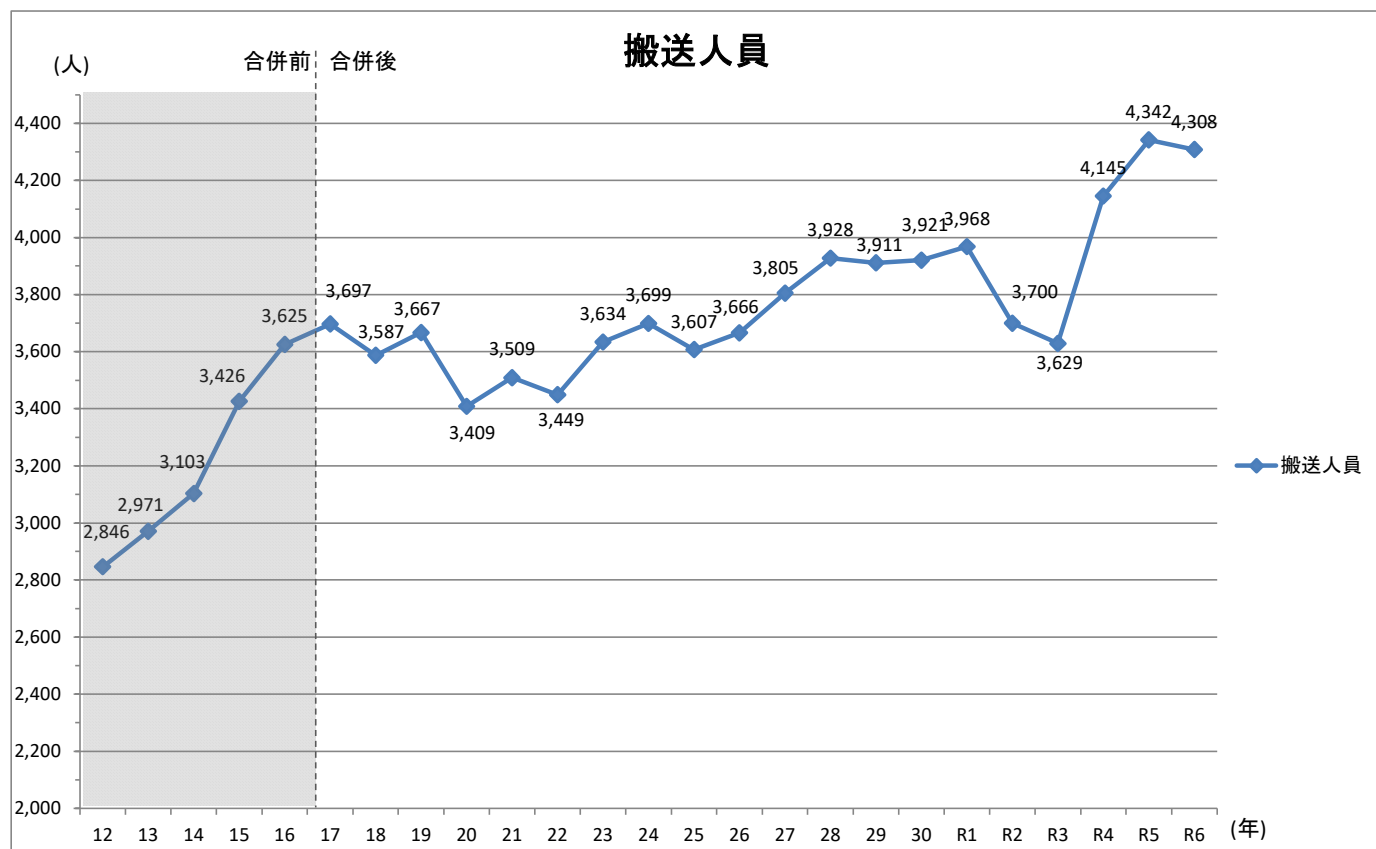
(その他には誤報、いたづらを含む)

9. 救急出場の推移(急病及び交通事故)



合併前の数値は、祁答院地区を除いたもの

10. 搬送人員の推移

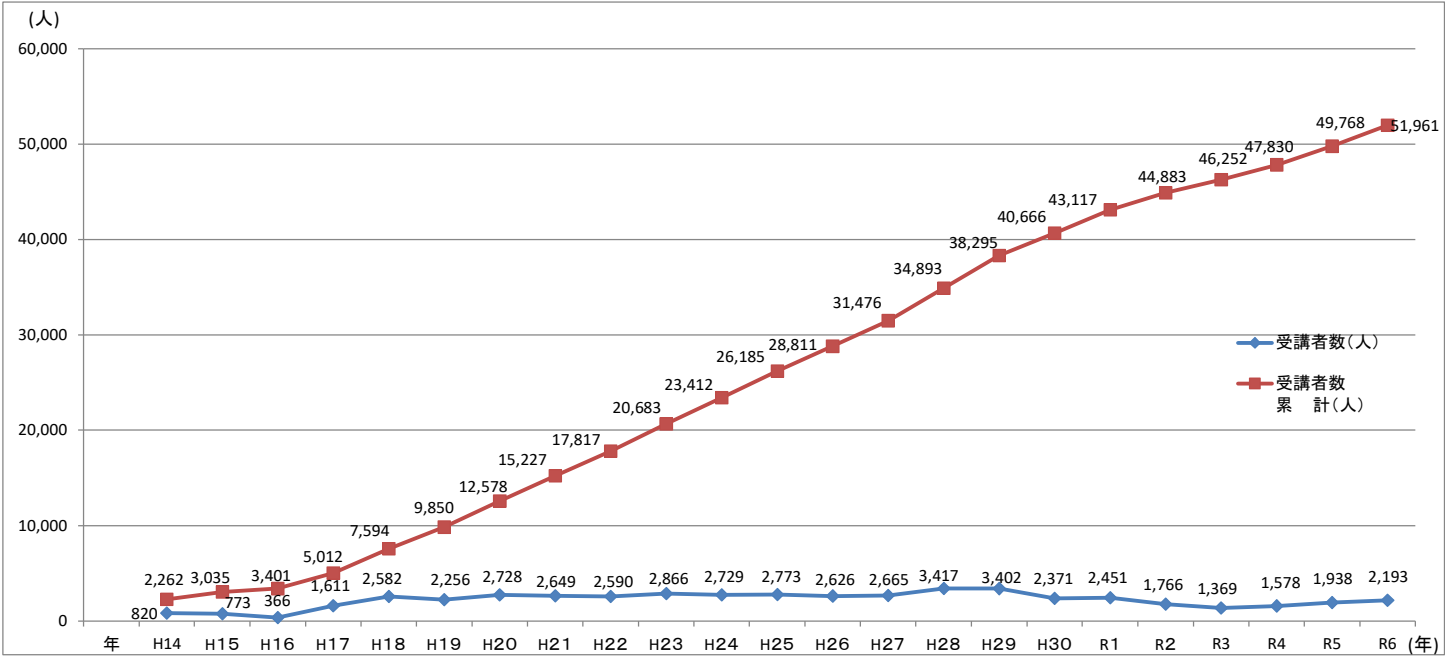


合併前の数値は、祁答院地区を除いたもの

11. 住民に対する応急手当普及啓発活動状況

年 区分	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
実施回数	37	38	25	82	145	116	142	134	133	140	142	146	125	103	133	153	118	102	81	59	76	88	116
受講者数(人)	820	773	366	1,611	2,582	2,256	2,728	2,649	2,590	2,866	2,729	2,773	2,626	2,665	3,417	3,402	2,371	2,451	1,766	1,369	1,578	1,938	2,193
受講者数累計(人)	2,262	3,035	3,401	5,012	7,594	9,850	12,578	15,227	17,817	20,683	23,412	26,185	28,811	31,476	34,893	38,295	40,666	43,117	44,883	46,252	47,830	49,768	51,961
市民に占める受講割合	2.4%	3.2%	3.5%	5.2%	7.9%	10.3%	13.1%	15.9%	18.6%	21.5%	24.4%	27.3%	30.0%	32.8%	36.3%	39.9%	42.4%	44.9%	46.8%	48.2%	49.8%	51.8%	54.1%

※ H17からAED(自動体外式除細動器)の取り扱いを含む講習を実施。



12. CPA患者社会復帰状況

年 区分	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
CPA患者数(搬送者)	66人	98人	77人	78人	86人	110人	105人	71人	88人	88人	77人	83人	90人	77人	68人	63人	76人	83人	75人
CPR口頭指導	16.7%	24.5%	41.6%	52.6%	37.2%	43.6%	66.7%	67.6%	65.9%	66.7%	90.4%	96.6%	93.3%	90.7%	82.9%	46%	46%	63%	29%
バイスタンダーCPR	36.4%	42.9%	40.3%	46.2%	33.7%	38.2%	41.9%	36.6%	43.2%	51.1%	53.4%	66.1%	71.4%	69.7%	50.0%	70.0%	55.3%	52.7%	46.7%
蘇生率	9.1%	17.3%	14.3%	12.8%	20.9%	19.1%	19.0%	19.7%	15.9%	23.9%	27.3%	12.5%	13.3%	6.4%	7.4%	25.4%	13.2%	16.9%	8.0%
社会復帰者	2人	6人	6人	4人	2人	4人	3人	3人	0人	4人	1人	6人	5人	3人	3人	1人	1人	1人	1人
社会復帰率	3.0%	6.1%	7.8%	5.1%	2.3%	3.6%	2.9%	4.2%	0.0%	4.5%	1.3%	7.2%	5.6%	3.9%	4.4%	1.5%	1.3%	1.2%	1.3%

※CPA..... Cardio Pulmonary Arrest の略で、心肺停止のこと。
※CPR..... Cardiol Pulmonary Resuscitation の略で、心肺蘇生法のこと。
※バイスタンダー..... 救急現場に居合わせた人(発見者、同伴者等)のこと。
※社会復帰..... 心肺停止により救急搬送された人が、回復して歩いて退院したこと。

13. 事故種別救助活動状況

令和6年1月1日～令和6年12月31日

事故種別 区分	火災	交通事故	水難事故	風水害等 自然災害	機械による 事故	建物等による 事故	ガス及び 酸欠事故	破裂事故	その他の 事故	合計
出 場 件 数	3	13	6	3	1	11			6	43
活 動 件 数	3	9	3	2	1	8			5	31
救 助 人 員 (人)	2	10	2	4	1	7			5	31

※消防機関が救助活動を行なう目的で出場した件数

なお、火災の場合は消防機関が何らかの救助活動を行なった件数

14. 事故種別出場及び活動車両状況

令和6年1月1日～令和6年12月31日

事故種別 車両区分	火災	交通事故	水難事故	風水害等 自然災害	機械による 事故	建物等による 事故	ガス及び 酸欠事故	破裂事故	その他の 事故	合計
救助工作車	3	12	6	2	1	9			5	38
	3	5	3	1		2			3	17
消防ポンプ自動車	10	12	10	4	1	8			7	52
	2	6	4	2	1	6			6	27
はしご車及び 屈折はしご車									1	1
指揮車及び 指令車	2		2						1	5
			1						1	2
救急自動車	3	14	8	2	1	9			7	44
		8	4	1	1	5			5	24
船舶										
その他	5	4	8	1					3	21
		1	6	1					2	10
消防団車両									4	4
									4	4
計	23	42	34	9	3	26			28	165
	5	20	18	5	2	13			21	84

・救助活動のために出場した車両等の台数

※上段 出動車両台数

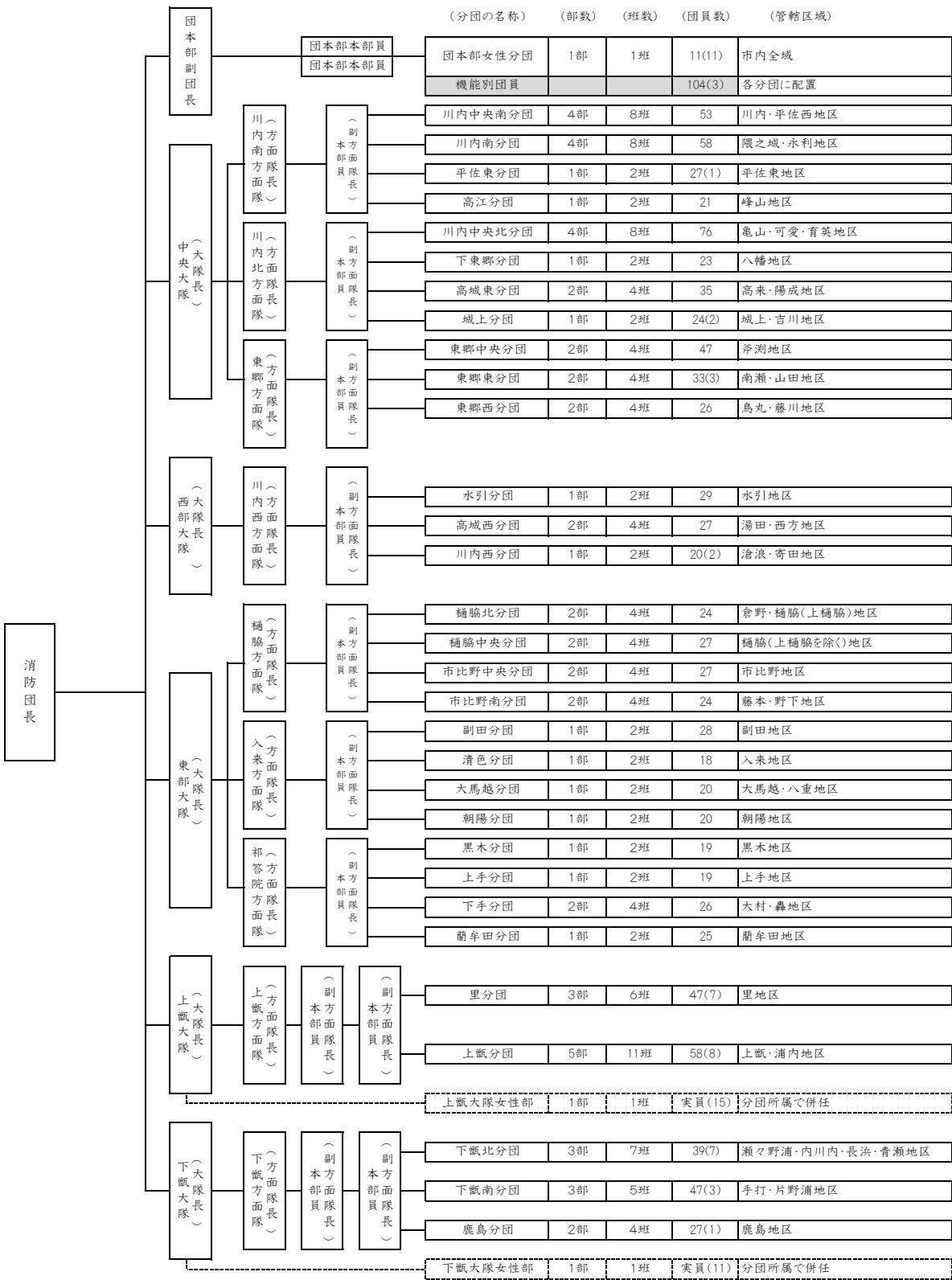
下段 活動車両台数

VI. 消防団及び 消防協力団体

薩摩川内市消防団の組織

令和7年4月1日現在

薩摩川内市消防団は、消防局の中央消防署・西部消防署・東部消防署・上甑分駐所・下甑分駐所の管轄区域に合わせ、中央・西部・東部・上甑・下甑の5大隊とし、その下に9方面隊・31分団で組織。女性団員は、団本部に団本部女性分団を、上甑・下甑大隊には、分団所属の女性団員で構成する併任の大隊付き女性部を配置。分団合計、団本部女性分団含む32分団となっている。また、団本部に機能別団員を配置している。



団長 1	副団長 6	方面隊長 9	本部員 13	分団長 32	部長 64	班長 126	団員 751	基本実員 1,034	男性団員 1,088
		【副団長級】	【分団長級】	副分団長 32				機能別実員 104	女性団員 50
			(団本部本部員 2)					実員 1,138	
			(副方面隊長 11)					定員 1,182	
								充足率 96.3%	

2. 消防団員定数及び実員

(単位:人)
令和7年4月1日現在

階級 区分	団 長	副団長		分団長		副分団長	部 長	班 長	団 員	合 計
		団本部副団長 大隊長	方面隊長	本部員	分団長					
定数	1	6	9	13	32	32	64	126	899	1,182
実員	1	6	9	13	32	32	64	126	855	1,138

※団員実員に機能別団員104人含む

3. 年齢別消防団員数

(単位:人)
令和7年4月1日現在

年齢 団員数	18歳以上 20歳未満	20歳以上 25歳未満	25歳以上 30歳未満	30歳以上 35歳未満	35歳以上 40歳未満	40歳以上 45歳未満	45歳以上 50歳未満	50歳以上 55歳未満	55歳以上 60歳未満	60歳以上	平均年齢
1,138 (50)	3 (1)	24 (2)	32 (5)	63 (1)	131 (5)	192 (7)	173 (9)	183 (8)	128 (3)	209 (9)	48.3 (46.2)

()は女性団員

4. 方面隊別消防団員数

(単位:人)
令和7年4月1日現在

方面隊別 区分	分 団 数	団員数 (人)	方面隊人口 (人)	世帯数 (世帯)	団員1人あたり 人口(人)
川 内 南 方 面 隊	4	161	38,189	18,893	237
川 内 北 方 面 隊	4	160	28,031	14,213	175
東 郷 方 面 隊	3	108	4,679	2,294	43
川 内 西 方 面 隊	3	78	3,234	1,971	41
樋 脇 方 面 隊	4	104	5,316	2,919	51
入 来 方 面 隊	4	88	3,988	2,183	45
祁 答 院 方 面 隊	4	91	2,798	1,490	31
上 甑 方 面 隊	2	108	1,805	1,136	17
下 甑 方 面 隊	3	116	1,699	1,156	15
合 計	31	1,014	89,739	46,255	89

5. 勤続年数別消防団員数

(単位:人)
令和7年4月1日現在

勤続年数 団員数	5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上 30年未満	30年以上
1,138 (50)	157 (15)	197 (13)	193 (9)	182 (8)	168 (4)	122 (1)	119 0

()は女性団員

6. 消防団車両の概要

令和7年4月1日現在

番号	大隊	方面隊	分団名	部名	車 両 名	車 種	登 録 番 号	購入年月	年度	経過年数	ポンプ及び メーカー	備考
1	団本部	団本部	団本部		団本部車	ニッサン	鹿児島 800 す 8429	H 30 . 2	29	8		
2					災害支援車	三菱	鹿児島 800 せ 2378	R 5 . 3	4	3		
3					予備積載車	トヨタ	鹿児島 800 さ 6423	H 15 .12	15	22		旧鹿児島二部
4			女性分団		火災予防指導車	ダイハツ	鹿児島 880 あ 1857	H 27 .11	27	10		H29.3月 緊急車両へ改造
5			西部大隊	団本部	大隊車	ダイハツ	鹿児島 880 あ 1853	H 29 . 3	28	9		
6			東部大隊	団本部	大隊車	ダイハツ	鹿児島 880 あ 1474	H 26 .11	26	11		
7			上甕大隊	団本部	大隊車	ダイハツ	鹿児島 880 あ 2088	H 31 . 2	30	7		
8			下甕大隊	団本部	大隊車	ダイハツ	鹿児島 880 あ 1193	H 24 .12	24	13		
9					大隊車2	トヨタ	鹿児島 800 す 7765	H 29 . 3	28	9		旧寄田班
10	中央 大隊	川内南	川内中央南	向田部	ポンプ車	日野	鹿児島 800 せ 848	R 3 . 3	2	5	A-2 日本ドライケミカル	
11				宮里部	積載車	トヨタ	鹿児島 800 す 5978	H 27 . 1	26	11		
12				中央一部	ポンプ車	日野	鹿児島 800 す 618	H 19 .12	19	18	A-2 日本機械	
13				中央二部	積載車	トヨタ	鹿児島 800 す 9273	H 31 . 2	30	7		
14			川内南	隈之城部	ポンプ車	日野	鹿児島 800 せ 1467	R 3 .12	3	4	A-2 日本ドライケミカル	
15				中福良部	積載車	トヨタ	鹿児島 800 す 5095	H 25 .11	25	12		
16				宮崎部	積載車	トヨタ	鹿児島 800 す 6902	H 28 . 2	27	10		
17				永利部(永利班)	積載車	トヨタ	鹿児島 800 せ 1656	R 4 . 3	3	4		
18				永利部(百次班)	積載車	トヨタ	鹿児島 800 す 9272	H 31 . 2	30	7		
19			平佐東	平佐東部1班	積載車	トヨタ	鹿児島 800 せ 3701	R 7 . 3	6	1		
20				平佐東部2班	ミニ積載車	ダイハツ	鹿児島 880 あ 2089	H 31 . 2	30	7		
21			高江	高江部	ポンプ車	日野	鹿児島 800 せ 2267	R 5 . 2	4	3	A-2 日本ドライケミカル	
22		川内北	川内中央北	大小路部	ポンプ車	トヨタ	鹿児島 800 せ 2310	R 5 . 3	4	3	A-2 モリタ	車両総重量3.5t未満
23				中郷部	積載車	トヨタ	鹿児島 800 す 7752	H 29 . 3	28	9		
24				上川内部	ポンプ車	日野	鹿児島 800 さ 2908	R 6 . 1	5	2	A-2 モリタ	車両総重量3.5t未満
25				亀山部	ポンプ車	日野	鹿児島 800 さ 2909	R 6 . 1	5	2	A-2 モリタ	車両総重量3.5t未満
26			下東郷	下東郷部1班	積載車	トヨタ	鹿児島 800 せ 814	R 3 . 2	2	5		
27				下東郷部2班	ミニ積載車	ダイハツ	鹿児島 880 あ 1971	H 30 . 2	29	8		
28			高城東	高城部	積載車	トヨタ	鹿児島 800 さ 3027	R 6 . 3	5	2		
29				陽成部	積載車	ニッサン	鹿児島 800 せ 109	R 2 . 3	1	6		
30			城上	城上吉川部吉川班	積載車	トヨタ	鹿児島 800 す 6904	H 28 . 2	27	10		
31				城上吉川部城上班	積載車	トヨタ	鹿児島 800 す 5098	H 25 .11	25	12		
32		東郷	東郷中央	一部	ポンプ車	日野	鹿児島 800 す 2905	H 22 .12	22	15	A-2 日本ドライケミカル	
33				二部	積載車	トヨタ	鹿児島 800 す 5099	H 25 .11	25	12		
34			東郷東	南瀬部	ポンプ車	日野	鹿児島 800 す 7596	H 29 . 1	28	9	A-2 日本ドライケミカル	
35				山田部	積載車	トヨタ	鹿児島 800 す 9257	H 31 . 2	30	7		
36			東郷西	鳥丸部	ポンプ車	いすゞ	鹿児島 800 せ 130	R 2 . 3	1	6	A-2 ナカムラ消防化学	
37				藤川部	積載車	トヨタ	鹿児島 800 す 5977	H 27 . 1	26	11		
38	西部 大隊	川内西	水引	水引部水引班	積載車	トヨタ	鹿児島 800 せ 2213	R 5 . 1	4	33		
39				水引部港班	積載車	トヨタ	鹿児島 800 せ 2211	R 5 . 1	4	33		
40			高城西	西方部	ポンプ車	いすゞ	鹿児島 800 す 6763	H 27 .12	27	10	A-2 モリタ	総務省消防庁無償貸与
41				湯田部	積載車	トヨタ	鹿児島 800 せ 2212	R 5 . 1	4	33		
42			川内西	川内西部久見崎班	積載車	トヨタ	鹿児島 800 す 5976	H 27 . 1	26	11		
43				川内西部寄田班	ミニ積載車	ダイハツ	鹿児島 880 あ 2090	H 31 . 2	30	7		

番号	大隊	方面隊	分団名	部名	車 両 名	車 種	登 録 番 号	購入年月	年度	経過年数	ポンプ及び メーカー	備考
44	東 部 大 隊	樋脇	樋脇北	倉野部	積載車	トヨタ	鹿児島 800 せ 3695	R 7 . 3	6	31		
45				岩下部	積載車	トヨタ	鹿児島 800 す 8486	H 30 . 3	29	8		
46			樋脇中央	塔之原部	ポンプ車	日野	鹿児島 800 す 9235	H 31 . 2	30	7	A-2 日本ドライケミカル	
47				河内部	積載車	トヨタ	鹿児島 800 す 6903	H 28 . 2	27	10		
48			市比野中央	市比野部	ポンプ車	日野	鹿児島 800 す 2841	H 22 .11	22	15	A-2 GMいちはら	
49					積載車	ニッサン	鹿児島 800 せ 108	R 2 . 3	1	6		
50				上手部	積載車	トヨタ	鹿児島 880 す 9258	H 31 . 2	30	7		
51			市比野南	藤本部	積載車	トヨタ	鹿児島 800 す 8478	H 30 . 3	29	8		
52				野下部	積載車	トヨタ	鹿児島 800 す 5096	H 25 .11	25	12		
53			入来	副田	副田部1班	ポンプ車	日野	鹿児島 800 す 5079	H 25 .10	25	12	A-2 日本ドライケミカル
54		副田部2班			積載車	トヨタ	鹿児島 800 す 8497	H 30 . 3	29	8		
55		清色		清色部	ポンプ車	日野	鹿児島 800 す 407	H 19 . 9	19	18	A-2 吉谷機械	
56		大馬越		大馬越部	積載車	トヨタ	鹿児島 800 す 8477	H 30 . 3	29	8		
57		朝陽		朝陽部	積載車	トヨタ	鹿児島 800 す 7754	H 29 . 3	28	9		
58		祁答院	黒木	黒木部	ポンプ車	日野	鹿児島 800 さ 8652	H 17 .12	17	20	A-2 日本ドライケミカル	
59			上手	上手部	ポンプ車	日野	鹿児島 800 せ 2268	R 5 . 2	4	3	A-2 日本ドライケミカル	
60			下手	1部	ポンプ車	トヨタ	鹿児島 800 せ 763	R 3 . 2	2	5	A-2 モリタ	車両総重量3.5t未満
61				2部	積載車	トヨタ	鹿児島 800 せ 4	R 2 . 2	1	6		
62			藺牟田	藺牟田部1班	ポンプ車	日野	鹿児島 800 す 2028	H 21 .11	21	16	A-2 日本ドライケミカル	
63				藺牟田部2班	積載車	トヨタ	鹿児島 800 せ 6	R 2 . 2	1	6		
64	上 甌 大 隊	上甌	里	北部	積載車	トヨタ	鹿児島 800 せ 1657	R 4 . 3	3	4		
65				中部	積載車	トヨタ	鹿児島 800 せ 1658	R 4 . 3	3	4		
66				南部	ミニ積載車	ダイハツ	鹿児島 880 あ 1965	H 30 . 2	29	8		
67			中甌部	多機能型	いすゞ	鹿児島 800 す 2318	H 22 . 3	21	16	モリタ		
68				ミニ積載車	ダイハツ	鹿児島 880 あ 579	H 20 .12	20	17			
69			江石部	ミニ積載車	ダイハツ	鹿児島 880 あ 1191	H 24 .12	24	13			
70			平良部	ミニ積載車	ダイハツ	鹿児島 880 あ 1341	H 25 .11	25	12			
71			振興局部	水槽付ポンプ車	日野	鹿児島 800 さ 9738	H 19 . 1	18	19	A-2 GMいちはら	水 1.5t	
72				ポンプ車	いすゞ	鹿児島 800 す 9267	H 31 . 2	30	7	A-2 日本ドライケミカル		
73			浦内部小島班	ミニ積載車	ダイハツ	鹿児島 880 あ 1846	H 29 . 3	28	9			
74			浦内部瀬上班	ミニ積載車	ダイハツ	鹿児島 880 あ 1340	H 25 .11	25	12			
75			浦内部桑之浦班	ミニ積載車	ダイハツ	鹿児島 880 あ 1470	H 26 .11	26	11			
76	下 甌 大 隊	下甌	下甌北	長浜部1班	ポンプ車	日野	鹿児島 800 す 399	H 19 . 9	19	18	A-2 日本ドライケミカル	
77				長浜部2班	多機能型	いすゞ	鹿児島 800 す 1289	H 20 .11	20	17	モリタ	日本消防協会寄贈
78				長浜部2班	ミニ積載車	ダイハツ	鹿児島 880 あ 1931	H 29 .11	29	8		日本損害保険協会寄贈 内川内
79				長浜部3班	ミニ積載車	ダイハツ	鹿児島 880 あ 1966	H 30 . 2	29	8		
80				青瀬部	積載車	トヨタ	鹿児島 800 す 7751	H 29 . 3	28	9		
81					ミニ積載車	ダイハツ	鹿児島 880 あ 1847	H 29 . 3	28	9		
82				瀬々野浦部	積載車	トヨタ	鹿児島 800 せ 812	R 3 . 2	2	5		
83					ミニ積載車	ダイハツ	鹿児島 880 あ 2207	R 2 . 2	1	6		
84			下甌南	手打部1班	ポンプ車	日野	鹿児島 800 さ 7479	H 16 .11	16	21	A-2 モリタ	
85				手打部2班	ミニ積載車	ダイハツ	鹿児島 880 あ 2208	R 2 . 2	1	6		本町
86				片野浦部	積載車	トヨタ	鹿児島 800 す 5979	H 27 . 1	26	11		岡
87					ミニ積載車	ダイハツ	鹿児島 880 あ 1845	H 29 . 3	28	9		浜田
88				支所部	ミニ積載車	ダイハツ	鹿児島 880 あ 1473	H 26 .11	26	11		
89			鹿島	一部	ポンプ車	日野	鹿児島 800 さ 9609	H 18 .12	18	19	A-2 日本機械	
90				二部	積載車	トヨタ	鹿児島 800 せ 813	R 3 . 2	2	5		旧手打部2班
91					ミニ積載車	ダイハツ	鹿児島 880 あ 1192	H 24 .12	24	13		小牟田

7. 小型ポンプの概要

令和7年4月1日現在

番号	大隊	方面隊	分団	部	メーカー	購入年月	年度	経過年数	型 式	ポンプ等級	備考
1	団本部	団本部	団本部	団本部	トーハツ	H 30 .12	30	7	VF53AS	B-3級	予備小型ポンプ
2			団本部	団本部	シバウラ	H 21 .12	21	16	SF656AZ	B-3級	予備積載車積載
3	中央大隊	川内南	川内中央南	宮里部	シバウラ	R 2 .12	2	5	FF450AS	B-3級	
4			川内中央南	中央二部	ラビット	H 20 . 8	20	17	Fi7000	B-3級	
5			川内南	中福良部	トーハツ	H 23 .12	23	14	VF53AS	B-3級	
6			川内南	宮崎部	シバウラ	H 28 . 1	27	10	SF656AZI	B-3級	
7			川内南	永利部(永利)	シバウラ	H 28 . 1	27	10	SF656AZI	B-3級	
8			川内南	永利部(百次)	シバウラ	H 28 . 1	27	10	SF656AZI	B-3級	
9			平佐東	平佐東部1班	トーハツ	R 5 .12	5	2	VF53BS	B-3級	
10			平佐東	平佐東部2班	シバウラ	R 2 .12	2	5	FF450AS	B-3級	
11		川内北	川内北	中郷部	シバウラ	H 28 . 1	27	10	SF656AZI	B-3級	
12			下東郷	下東郷部1班	トーハツ	H 30 . 1	29	8	VF53AS	B-3級	
13			下東郷	下東郷部2班	トーハツ	H 30 . 1	29	8	VF53AS	B-3級	
14			高城東	高城部	シバウラ	R 2 .12	2	5	FF450AS	B-3級	
15			高城東	陽成部	トーハツ	R 3 .11	3	4	VF53AS	B-3級	
16			城上	城上吉川部吉川班	トーハツ	H 30 .12	30	7	VF53AS	B-3級	
17			城上	城上吉川部城上班	シバウラ	H 28 . 1	27	10	SF656AZI	B-3級	
18		東郷	東郷中央	二部	トーハツ	H 23 .12	23	14	VF53AS	B-3級	
19			東郷東	山田部	トーハツ	H 30 .12	30	7	VF53AS	B-3級	
20			東郷西	藤川部	トーハツ	H 26 .12	26	11	VF53AS	B-3級	
21	西部大隊	川内西	水引	水引部水引班	トーハツ	H 30 . 1	29	8	VF53AS	B-3級	
22			水引	水引部港班	トーハツ	R 3 .11	3	4	VF53AS	B-3級	
23			高城西	湯田部	シバウラ	H 29 . 3	28	9	FF450	B-3級	
24			川内西	川内西部久見崎班	トーハツ	H 24 .12	24	13	VF53AS	B-3級	
25			川内西	川内西部寄田班	シバウラ	H 28 . 1	27	10	SF656AZI	B-3級	
26	東部大隊	樋脇	樋脇北	倉野部	トーハツ	H 30 .12	30	7	VF53AS	B-3級	
27			樋脇北	岩下部	トーハツ	R 4 .12	4	3	VF53BS	B-3級	
28			樋脇中央	河内部	シバウラ	H 28 . 1	27	10	SF656AZI	B-3級	
29			市比野中央	市比野部	シバウラ	H 29 . 3	28	9	FF450	B-3級	
30			市比野中央	上手部	トーハツ	H 23 .12	23	14	VF53AS	B-3級	
31			市比野南	藤本部	シバウラ	H 21 .12	21	16	SF656AZ	B-3級	
32			市比野南	野下部	トーハツ	R 3 .11	3	4	VF53AS	B-3級	
33	東部大隊	入来	副田	副田部2班	トーハツ	H 30 . 1	29	8	VF53AS	B-3級	
34			大馬越	大馬越部	トーハツ	H 30 . 1	29	8	VF53AS	B-3級	
35			朝陽	朝陽部	シバウラ	H 28 . 1	27	10	SF656AZI	B-3級	
36		祁答院	黒木	黒木部	トーハツ	H 30 .12	30	7	VF53AS	B-3級	
37			上手	上手部	シバウラ	H 29 . 3	28	9	FF450	B-3級	
38			下手	2部	シバウラ	H 29 . 3	28	9	FF450	B-3級	
39			藺牟田	藺牟田部2班	シバウラ	H 29 . 3	28	9	FF450	B-3級	

番号	大隊	方面隊	分団	部	メーカー	購入年月	年度	経過年数	型 式	ポンプ等級	備考
40	上 甌 大 隊	上 甌	里	北部	ト ー ハ ツ	H 29 . 2	28	9	VF53AS	B-3級	
41			里	中部	ト ー ハ ツ	H 24 .12	24	13	VF53AS	B-3級	
42			里	南部	ト ー ハ ツ	H 30 .12	30	7	VF53AS	B-3級	
43			上甌	中甌部	ラ ビ ッ ト	H 22 . 3	21	16	Fi7000	B-3級	多機能型
44			上甌	中甌部	ト ー ハ ツ	H 20 .12	20	17	VC62BS	B-3級	ミニ積
45			上甌	江石部	ト ー ハ ツ	H 24 .12	24	13	VF53AS	B-3級	
46			上甌	平良部	シ バ ウ ラ	H 21 .12	21	16	SF656AZ	B-3級	
47			上甌	浦内部瀬上班	シ バ ハ ラ	H 21 .12	21	16	SF656AZ	B-3級	
48			上甌	浦内部小島班	ト ー ハ ツ	H 28 . 1	28	9	VF53AS	B-3級	
49			上甌	浦内部桑之浦班	ト ー ハ ツ	H 24 .12	24	13	VF53AS	B-3級	
60	下 甌 大 隊	下 甌	下甌大隊	下甌大隊2	ト ー ハ ツ	H 30 .12	30	7	VF53AS	B-3級	旧 寄田班
51			下甌北	長浜部2班	ト ー ハ ツ	H 20 .11	20	17	VF53AS	B-3級	
52			下甌北	長浜部2班(内川内)	ト ー ハ ツ	H 28 . 1	27	10	VF53AS	B-3級	
53			下甌北	長浜部2班(内川内)	ト ー ハ ツ	H 29 .11	29	8	VC72BS	B-3級	
54			下甌北	長浜部3班	シ バ ウ ラ	H 20 . 9	20	17	SF756AZ	B-3級	
55			下甌北	青瀬部	シ バ ウ ラ	H 25 .11	25	12	SF656AZi	B-3級	
56			下甌北	青瀬部	ト ー ハ ツ	H 28 . 1	27	10	VF53AS	B-3級	
57			下甌北	瀬々野浦部	ト ー ハ ツ	H 28 . 1	27	10	VF53AS	B-3級	
58			下甌北	瀬々野浦部	ト ー ハ ツ	H 29 . 2	28	9	VF53AS	B-3級	
59			下甌南	手打部2班	ト ー ハ ツ	H 29 . 2	28	9	VF53AS	B-3級	
60			下甌南	片野浦部	ト ー ハ ツ	H 23 .12	23	14	VF53AS	B-3級	
61			下甌南	片野浦部	ト ー ハ ツ	H 28 . 1	27	10	VF53AS	B-3級	
62			下甌南	支所部	ト ー ハ ツ	H 28 . 1	27	10	VF53AS	B-3級	
63			鹿島	二部	ト ー ハ ツ	H 28 . 1	27	10	VF53AS	B-3級	
64			鹿島	二部	シ バ ウ ラ	R 5 . 1	4	3	FF450	B-3級	

8. 消防協力団体

(1) 薩摩川内市危険物安全協会 (組 織)

令和7年4月1日現在

会 長	副 会 長	評 議 員	監 事	顧 問	正 会 員	賛 助 会 員
1名	2名	13名	2名	1名	100事業所	43事業所

(事 業)

- | | |
|---|---|
| 1. 消防思想の普及高揚と災害予防対策
(1) 災害事故例等参考資料の配布
(2) 法令改正等研修
(3) 危険物保全に関する啓発及び指導
(4) 先進地視察及び災害現場視察
(5) 自衛消防隊消火競技大会の実施
(6) 普通救命講習会の開催
(7) 接地抵抗計、訓練用消火器の貸出し | 2. 会員相互の親睦
3. 危険物取扱者及び事業所の表彰
4. 薩摩川内市管内危険物取扱事業所の本会への加入促進
5. その他本会の目的達成に必要な事業 |
|---|---|

(令和7年度予算)

歳 入

(単位:円)

会 費	補 助 金	繰 越 金	雑 収 入	計
1,102,000	0	176,780	10,220	1,289,000

歳 出

(単位:円)

会 議 費	事 業 費	事 務 費	県危協負担金	雑 費	予 備 費	計
220,000	400,000	530,000	130,000	3,000	6,000	1,289,000

(2) 薩摩川内市防火管理協会

(組 織)

令和7年4月1日現在

会 長	副 会 長	役 員	監 事	顧 問	正 会 員	賛 助 会 員
1名	4名	19名	2名	1名	351事業所	13事業所

(事 業)

- | | |
|--|--|
| 1. 防火管理者の育成及び消防(防火)思想の普及啓発
2. 防火管理者及び防災担当者の研修会、講習会等
3. 自衛消防隊消火競技大会の実施
4. 普通救命講習会の開催
5. 防火ポスター絵画の作品募集及び展示 | 6. 各種災害の予防対策の研究
7. 消防用設備の維持管理の指導及び保守点検
8. 協会だよりの発行
9. 優良会員事業所等の表彰
10. その他本会の目的達成上必要なこと |
|--|--|

(令和7年度予算)

歳 入

(単位:円)

会 費	補 助 金	繰 越 金	雑 収 入	計
1,512,000	0	344,175	825	1,857,000

歳 出

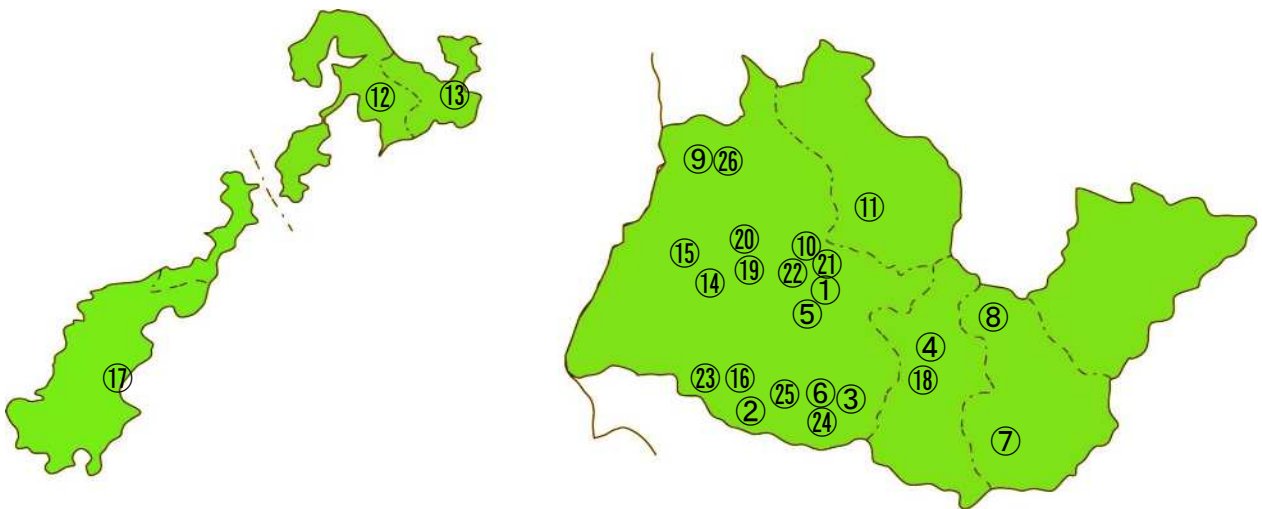
(単位:円)

会 議 費	事 業 費	事 務 費	雑 費	予 備 費	計
320,000	800,000	721,000	1,000	15,000	1,857,000

(3) 薩摩川内市防火クラブ

令和7年4月1日現在

番 号	ク ラ ブ 名	結 成 年 月 日	人 員	所 在 地
1	平 佐 保 育 園 幼 年 消 防 隊	S 58 . 4 . 30	20	平佐町3879番地3
2	青 山 幼 稚 園 幼 年 消 防 隊	S 59 . 10 . 22	91	青山町4194番地
3	永 利 保 育 園 幼 年 消 防 クラブ	S 59 . 11 . 1	59	百次町1069番地22
4	善 福 寺 こ ど も 園 幼 年 防 火 クラブ	S 59 . 11 . 1	9	樋脇町塔之原1177番地
5	せ ん だ い 幼 稚 園 幼 年 消 防 隊	S 60 . 4 . 22	68	平佐町3590番地2
6	勝 目 保 育 園 幼 年 消 防 隊	S 61 . 10 . 27	15	勝目町5315番地71
7	入 来 こ ど も 園 幼 年 消 防 クラブ	S 61 . 11 . 15	20	入来町浦之名7517番地3
8	び ぼ あ 幼 年 消 防 クラブ	H 11 . 4 . 1	35	入来町副田6046番地25
9	西 風 園 幼 年 消 防 クラブ	H 11 . 4 . 2	7	西方町2605番地1
10	育 英 保 育 園 幼 年 消 防 クラブ	H 11 . 12 . 1	72	中郷四丁目187番地
11	東 郷 幼 稚 園 幼 年 消 防 クラブ	H 12 . 1 . 11	10	東郷町斧渕4773番地2
12	中 津 幼 稚 園 幼 年 消 防 クラブ	H 13 . 5 . 21	14	上甕町中甕253番地
13	里 幼 稚 園 幼 年 消 防 クラブ	H 13 . 6 . 19	14	里町里1650番地1
14	高 江 こ ど も 園 幼 年 消 防 クラブ	H 15 . 1 . 15	11	高江町1875番地
15	水 引 こ ど も 園 幼 年 消 防 隊	H 15 . 8 . 1	35	水引町4795番地
16	青 山 保 育 園 幼 年 消 防 クラブ	H 25 . 1 . 25	19	青山町3586番地4
17	か の こ 幼 稚 園 幼 年 消 防 クラブ	H 27 . 9 . 1	25	下甕町青瀬382番地
18	す わ こ ど も 園 幼 年 消 防 クラブ	H 29 . 10 . 1	39	樋脇町市比野550番地
19	亀 山 幼 稚 園 幼 年 消 防 クラブ	H 30 . 9 . 1	15	五代町635番地
20	川内すわこども園幼年消防クラブ	R 2 . 4 . 27	39	御陵下町19番5号
21	川内すわこども園SECOND幼年消防クラブ	R 3 . 4 . 22	75	中郷三丁目327番地1
22	み く に キ ッ ズ 消 防 隊	R 7 . 4 . 1	44	御陵下町11番9号
計			692 名	
23	青 山 少 年 消 防 クラブ	S 58 . 8 . 25	0	青山町4060番地9
24	川 内 精 舎 少 年 消 防 クラブ	H 11 . 5 . 1	13	百次町649番地1
計			13 名	
25	勝 目 保 育 園 女 性 消 防 クラブ	S 63 . 1 . 23	36	勝目町5315番地71
26	西 方 女 性 防 火 クラブ	H 12 . 2 . 1	14	西方町2413番地
計			50 名	
合計			755 名	

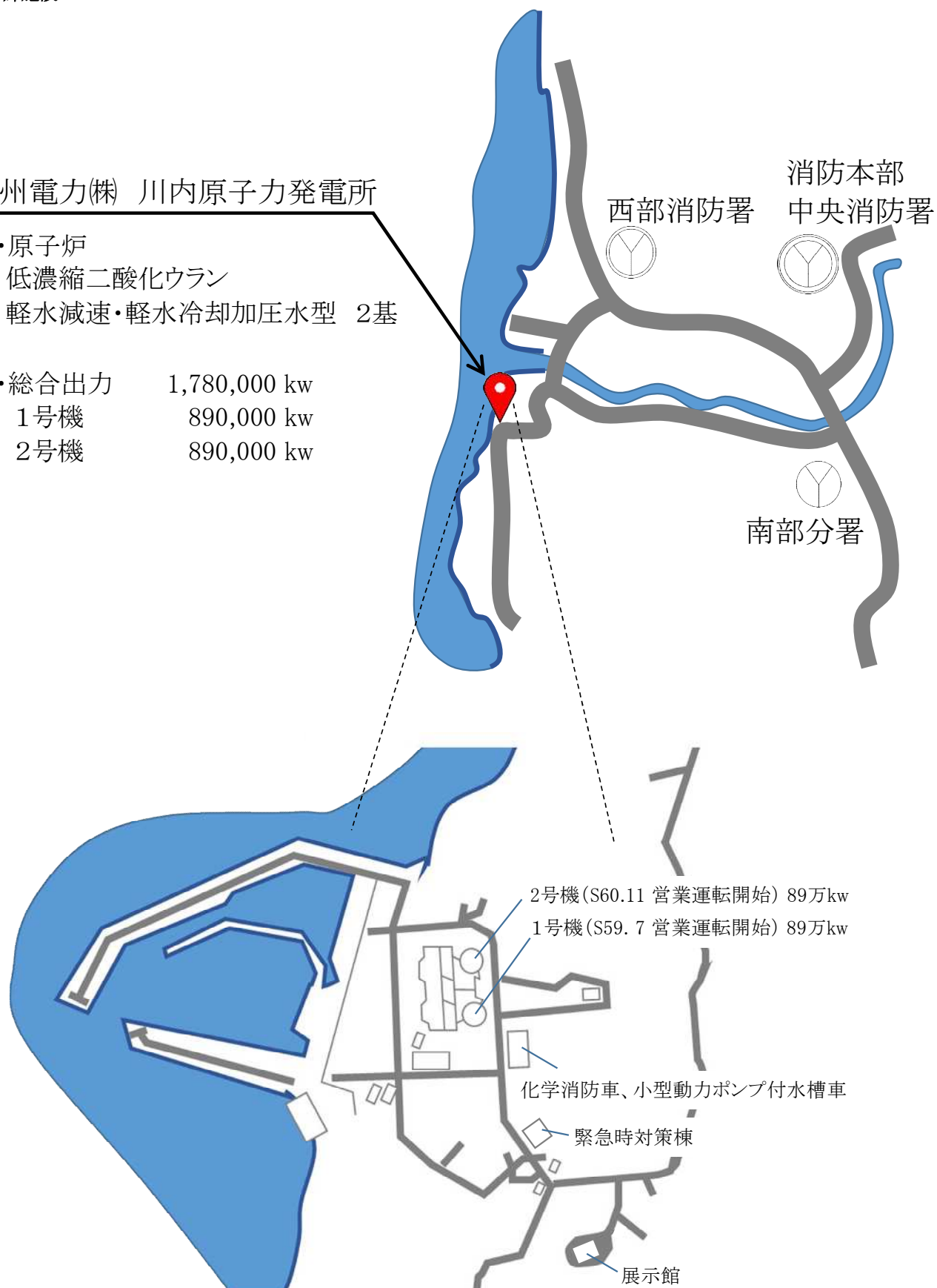


9. 特殊施設

九州電力(株) 川内原子力発電所

- 原子炉
低濃縮二酸化ウラン
軽水減速・軽水冷却加圧水型 2基

•総合出力	1,780,000 kw
1号機	890,000 kw
2号機	890,000 kw



付録

●消防本部・署の沿革(川内市消防本部)

年	月	概 要
昭和 26 年	4 月 1 日	消防本部を創設(初代消防長 近藤磨瑛雄(団長兼務)以下9人)
昭和 27 年	11 月 13 日	自動車ポンプを購入(消防長以下18人)
昭和 32 年	10 月 20 日	気象観測開始
昭和 33 年	1 月	自動車ポンプを購入(人口62,492人、職員27人、自動車ポンプ2台)
昭和 34 年	11 月 10 日	消防署を創設(近藤消防長、初代署長を兼務)
昭和 35 年	6 月 30 日	近藤消防長(署長)退任、第2代消防長に仮屋重夫市助役が消防長事務取扱として就任
昭和 36 年	3 月 1 日	第2代消防署長に須田清春就任
昭和 37 年	4 月 1 日	大小路分遣隊を新設(職員9人、自動車ポンプ1台)
	5 月 17 日	日本損害保険協会より消防ポンプ自動車の寄贈を受ける
昭和 39 年	3 月 25 日	消防無線開設(基地1、移動3台)
昭和 41 年	12 月 15 日	須田清春署長が第3代消防長に、平瀬松次次席が第3代署長に就任
昭和 43 年	4 月 15 日	平瀬署長退任(須田消防長、第4代署長を兼務)
	5 月 1 日	救急業務開始(職員41人、自動車ポンプ4台、救急車1台)
昭和 45 年	12 月 28 日	須田消防長(署長)退任、児玉篤信市助役が第4代消防長事務取扱となる
昭和 46 年	1 月 9 日	平山武徳次席が第5代署長に就任
	7 月 7 日	平山武徳次長兼署長に就任
	9 月 30 日	児玉消防長事務取扱が退任、横山正元市長が第5代消防長事務取扱に就任
昭和 47 年	1 月 17 日	梯子車(24m)を購入(職員53人、自動車ポンプ3台、救急車1台)
昭和 48 年	9 月 1 日	川内信用金庫より救急車の寄贈を受ける
	9 月 18 日	鹿児島県共済農業協同組合連合会より救急車の寄贈を受ける
昭和 49 年	9 月 28 日	横山消防長事務取扱が退任、福壽十喜市長が第6代消防長事務取扱に就任
昭和 50 年	1 月 7 日	平山次長 署長の兼務を解き、浜田博之第6代署長に就任
	3 月 20 日	日本損害保険協会より消防ポンプ自動車の寄贈を受ける
	6 月 23 日	平山次長退任
	11 月 3 日	日乃出屋より器具車の寄贈を受ける(職員54人、本部車1台、自動車ポンプ3台、梯子車1台、救急車2台、器具車1台)
	12 月 1 日	十島良郎次長に就任
昭和 53 年	4 月 1 日	川内市中郷町2023番地に新庁舎落成移転、同時に大小路分遣隊は市役所庁舎に移転、向田分遣隊と改称
	5 月 15 日	川内信用金庫より消防指揮車の寄贈を受ける
昭和 54 年	7 月 20 日	京都セラミックより救急車の寄贈を受ける
昭和 55 年	3 月 3 日	浜田署長退任、堀之内成夫第7代署長に就任
	11 月 20 日	十島次長退任、堀之内成夫次長兼署長に就任
	11 月 26 日	タイヨーより救急車の寄贈を受ける
昭和 56 年	1 月 20 日	堀之内次長兼務を解く
	1 月 26 日	福壽消防長事務取扱退任、山本孝一第7代消防長に就任

●消防本部・署の沿革(川内地区消防組合)

年	月	日	概 要
昭和 56 年	4 月	1 日	1市3町4村を構成員とする川内地区消防組合発足 条例定数 105人 実員 76人 管理者 福壽十喜 助役 仁礼国市 収入役 松永富男 初代消防長 山本孝一 向田分遣隊を中央消防署南部分署と改称
	7 月	15 日	川内地区消防組合紋章・組合旗の制定
	12 月	1 日	土地区画整理事業により、消防本部・署の所在地町名地番変更 (川内市原田町185番地)
昭和 57 年	2 月	10 日	日本自動車工業会より救急車の寄贈を受ける
	2 月	24 日	中央消防署上甕・下甕分駐所庁舎及び消防吏員待機宿舎完成
	3 月	31 日	救急指令装置をB型電子式に整備・無線局寺山公園中継局設置 中央消防署上甕・下甕分駐所開所 各所に職員6人・救急車1台配備
昭和 58 年	1 月	28 日	中央消防署車庫新築(鉄骨スレート葺 32㎡)
	3 月	11 日	鹿児島県共済農業協同組合連合会より救急車の寄贈を受ける
	3 月	18 日	東部消防署庁舎完成(入来町浦之名727番地2)
	3 月	19 日	日本損害保険協会より救急車の寄贈を受ける
	4 月	1 日	東部消防署開署(職員11人、水槽付消防ポンプ自動車1台、救急車1台、指揮車1台配備)
	10 月	1 日	東部消防署に職員6人を増置、17人とする。 コーアガス鹿児島・南日本ガスより指令車の寄贈を受ける
	11 月	1 日	川内信用金庫より救急車の寄贈を受ける
昭和 59 年	1 月	26 日	管理者 福壽十喜 急逝
	3 月	12 日	仁礼国市第2代管理者に就任
	3 月	26 日	西部消防署庁舎完成(川内市水引町3397番地2)
	4 月	1 日	西部消防署開署(職員13人、大型高所放水車1台、水槽付消防ポンプ自動車1台、救急車1台、指揮車1台配備)
	7 月	1 日	萩迫良和第2代助役に就任
	8 月	28 日	日本消防協会より電源照明用資機材搬送車の寄贈を受ける
	10 月	1 日	西部消防署に職員4人を増置。17人とする
	11 月	1 日	中央消防署通信指令室にファクシミリ設置
昭和 60 年	2 月	27 日	中央消防署倉庫新築(鉄骨スレート葺 2階建 延面積64㎡)
	2 月	28 日	寺山無線中継局に遠方監視装置増設
	4 月	1 日	条例定数改正 119人 実員 108人
昭和 60年	12 月	3 日	三井液化ガスより指揮車の寄贈を受ける
	12 月	25 日	救急業務用地図等検索装置(光ディスク方式)購入
昭和 61 年	4 月	1 日	消防本部警防課に通信指令係を新設(職員3人)
	4 月	18 日	消防組合発足5周年記念式典を挙行

年	月	概 要
昭和 61 年	8 月 11 日	山本消防長退任(萩迫助役が消防長事務取扱兼務)
	10 月 1 日	野田泰宏第2代消防長に就任
昭和 62 年	3 月 28 日	消防本部、中央消防署庁舎増築・模様替工事(2階部分261㎡増築)
		中央消防署車庫新築(鉄骨スレート葺73.95㎡)
	12 月 7 日	福崎勇夫氏(川内市)より救急車の寄贈を受ける
	12 月 15 日	救助工作車及び救助資機材一式を購入、中央消防署に配備
昭和 63 年	3 月 9 日	消防庁長官表彰(表彰旗)
	6 月 30 日	松永収入役退任
	9 月 6 日	森 卓朗第2代収入役に就任
	12 月	市町村負担金分賦割合の変更につき関係市町村と協議 全市町村議会議決
平成 元 年	1 月 30 日	だいわより救急車の寄贈を受ける(川内市へ)
	2 月 2 日	東部消防署車庫を新築(鉄骨スレート葺17.92㎡)
	3 月 4 日	市町村負担金分賦割合の変更許可(県知事)
	12 月 5 日	日本防火協会より防火広報車の寄贈を受ける
平成 2 年	3 月 31 日	野田消防長退任
	4 月 1 日	内田耕也第3代消防長に就任
	6 月 16 日	堀ストアより救急車の寄贈を受ける(川内市へ)
	10 月 24 日	南日本開発より梯子車(35m)の寄贈を受ける(川内市へ)
平成 3 年	4 月 7 日	川内ライオンズクラブより救急車の寄贈を受ける
	8 月 4 日	消防組合発足10周年記念式典を挙行(第9回消防フェスティバル同時開催)
平成 4 年	3 月 2 日	原子力発電施設等緊急時安全対策交付金事業により鹿児島県から消防無線移動局の貸与を受ける(5w15基)
	3 月 26 日	中央消防署南部分署新庁舎完成(川内市若松町8番20号)
	8 月	中央・東部・西部各消防署で消防フェスタ開催
	9 月 1 日	日本消防協会より救急車の寄贈を受ける
	10 月 1 日	中央消防署南部分署に職員4人を増置、13人とする
	11 月 1 日	大型高所放水車を西部消防署から中央消防署南部分署に配置転換
平成 5 年	3 月 20 日	中央消防署南部分署に訓練塔建設
	3 月 16 日	原子力発電施設等緊急時安全対策交付金事業により鹿児島県から消防無線移動局(5w10基)及び救助資機材等(空気呼吸器5基他)の貸与を受ける
	3 月 27 日	サンテックより小型船舶(1.5t)の寄贈を受ける
	9 月 20 日	市町村負担金分賦割合に関する組合規約変更届出(平成6年度負担金から適用)
平成 6 年	2 月 15 日	原子力発電施設等緊急時安全対策交付金事業により鹿児島県から消防無線移動局(10w2基、5w6基)及び救助資機材等(空気呼吸器5基他)の貸与を受ける
	4 月 1 日	通信指令室に河川情報等受信用端末機を設置

年	月	概 要
平成 6 年	5 月 18 日	救急救命士誕生、11月に2人となる
平成 7 年	1 月 24 日	阪神淡路大震災被災地へ職員5人、車両2台を派遣 ～28日
	3 月 31 日	内田消防長退任
	4 月 1 日	山口 傳第4代消防長に就任(昇任) 条例定数改正 128人 実員123人 川内市のコンピュータ(サーバ)と電話回線により接続された端末機を消防本部総務課に設置、財務会計のオンライン処理開始
	5 月 19 日	救急救命士3人となる
	7 月 27 日	日本損害保険協会より水槽付消防ポンプ自動車の寄贈を受ける
	8 月 21 日	第1回応急手当普及員講習会を実施(29人認定)～23日
	8 月 25 日	森収入役退任
	8 月 29 日	日本消防協会より救急車の寄贈を受ける
	8 月 31 日	萩迫助役退任
	10 月 1 日	救急救命士の院内研修を川内市医師会立市民病院で実施(10月2人、11月2人)
	11 月 22 日	救急救命士4人となる
平成 8 年	1 月 18 日	高規格救急車及び高度救命処置用資機材を購入、中央消防署に配備
	3 月 10 日	仁礼管理者退任
	3 月 11 日	森 卓朗第3代管理者に就任
	3 月 15 日	原子力発電施設等緊急時安全対策交付金事業により鹿児島県から消防無線移動局(10w2基、5w3基)の貸与を受ける
	4 月 1 日	富山新八第3代助役に就任 若松隆久第3代収入役に就任 高規格救急車等による高度救急業務を開始 消防本部警防課の通信指令係を第1通信指令係及び第2通信指令係とする
	4 月 9 日	コアガスグループより指令車の寄贈を受ける
	8 月 20 日	第2回応急手当普及員講習会を実施(29人認定)～22日
	10 月 22 日	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練参加(熊本県菊池郡)
	12 月 2 日	救急救命士5人となる
平成 9 年	3 月 26 日	鹿児島県北西部地震 M6.2 震度5強
	3 月 31 日	山口消防長退任
	4 月 1 日	岩切秀雄第5代消防長に就任
	4 月 4 日	カコイエレクトロより連絡車(ベスト電器号)の寄贈を受ける
	5 月 12 日	救急救命士6人となる
	5 月 13 日	鹿児島県北西部地震 M6.2 震度6弱
	7 月 10 日	鹿児島県消防相互応援協定に基づき出水市針原地区の土石流災害現場へ職員15人、車両3台を派遣 ～11日

年	月	概 要
平成 9 年	8 月 20 日	日本宝くじ協会より消火・通報訓練指導車(けすゾウくん)の寄贈を受ける
	10 月 7 日	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練参加(福岡市)～8日
	11 月	救急救命士7人となる
平成 10	3 月 7 日	自治体消防制度50周年
	3 月 10 日	代表電話番号の変更 0996-22-0119
	4 月 1 日	緊急通信指令施設(Ⅱ型)稼動 携帯電話等からの119番通報受信開始 女性消防吏員1人採用
	4 月 22 日	中央消防署梯子車(35m)分解整備(オーバーホール)～9月30日
	5 月 1 日	川内地区消防組合潜水隊編成(7人)
	5 月 12 日	救急救命士8人となる
	11 月 19 日	川内ライオネスクラブより予防指導車(川内ライオネスクラブ号)の寄贈を受ける
	11 月 25 日	救急救命士9人となる
平成 11 年	2 月 24 日	東部消防署 高規格救急車等による高度救急業務を開始
	3 月 5 日	市町村負担金の支弁方法の改正に伴う県知事への組合同規約変更届(平成11年度から適用)
	4 月 1 日	消防本部に予防課を新設し3課7係となる 職員実数128となる
	4 月 9 日	消防行政相談日並びに普通救命講習会開催(以降毎月9日に定期的に実施)
	5 月 11 日	救急救命士10人となる
	5 月 20 日	第83回全国消防長会法制委員会を樋脇町で開催 ～21日
	10 月 19 日	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練参加(長崎市)～20日
	11 月 10 日	救急救命士11人となる
平成 12 年	2 月 1 日	消防本部及び消防署の住居表示変更 原田町22番10号
	3 月 17 日	上・下甕分駐所消防職員待機宿舎を上・下甕に1棟ずつ新築し、合わせて6世帯確保となる
	3 月 31 日	富山助役退任 岩切消防長退任
	4 月 1 日	岩切秀雄第4代助役に就任 春田廣士第6代消防長に就任
		原子力発電施設等緊急時安全対策交付金事業により鹿児島県から(エアートント一式、発電機等8基、防護服等50着)の貸与を受ける
	4 月 18 日	南部分署大型高所放水車分解整備(オーバーホール)～9月30日
	5 月 9 日	救急救命士12人となる
	10 月 23 日	緊急消防援助隊全国合同訓練参加(東京都江東区)～24日

年	月	概 要
平成 12 年	10 月 29 日	川内ライオンズクラブ(35周年記念事業)から指揮広報車(川内ライオンズ号)の寄贈を受ける
	11 月 1 日	救急救命士13人となる
平成 13 年	3 月 23 日	原子力発電施設等緊急時安全対策交付金事業により鹿児島県から消防無線移動局(5w5基)の貸与を受ける
	10 月 2 日	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練参加(佐賀市)～3日 消防組合20周年記念式典を挙(百次町、屋内研修訓練体育施設にて) 外菌運輸機工より消防指揮車の寄贈を受ける
平成 14 年	3 月 31 日	春田消防長転任
	4 月 1 日	伊豫田輝雄第7代消防長に就任
	5 月 13 日	救急救命士14人となる
	5 月 29 日	宝山実業より救急車(赤玉号)の寄贈を受ける
	6 月 28 日	おおとり荘より小型貨物自動車の寄贈を受ける
平成 16 年	10 月 8 日	川内地区消防組合(昭和56年4月1日発足)解散式を挙(中央消防署車庫にて)